

令和元年7月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 令和元年7月31日（水）午前10時～午後5時20分

2 場 所 市役所6階 604会議室

3 出席者 [教育長] 内藤隆行

[委 員] 大岩幹夫(教育長職務代理者)、吉本理、中川奈緒美、
寺本彰、清水国明

[事務局] 師岡林教育総務部長、出居正之学校教育部長、千葉裕
之教育総務部次長、戸村達男学校教育部次長兼学校教育課
長、肥沼位昌文化財保護担当参事兼文化財保護課長、池田隆
人保健給食担当参事兼保健給食課長、長谷川陽子教育セン
ター担当参事兼教育センター所長、安田幸雄教育総務課長、
清水康雄教育総務課主幹兼教育企画室長、森田幸夫教育施設
課長、稲田里織社会教育課長、廣谷貴紀スポーツ振興課長、
酒井忠夫生涯学習推進センター所長、古田晃一所沢図書館長、
吉川誠学校教育課教育指導担当主幹兼健やか輝き支援室長、
田中丈仁学校教育課指導主事、真崎孝博学校教育課指導
主事、松長誠学校教育課指導主事

[書 記] 武政直行教育総務課主査、名雪晋祐教育総務課主任

印の職員は、全ての審議に出席。

印の職員は、議案第20号の審議より出席。

無印の職員は、議案第20号、第21号の審議の際は退室。

[その他] 野澤和也狭山ヶ丘中学校長、諸範弘柳瀬中学校長、長田茂樹
富岡中学校長、宮井俊充小手指中学校長、沼田芳行三ヶ島中
学校長、菅野昌司上新井小学校長

所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会委員として、
議案第20号の議案説明のため出席。

佐藤佳岳西富小学校長、鈴木克彦東所沢小学校長、向井茂樹
所沢小学校長、本澤智巳明峰小学校長、依田伸二中央小学校
長、五十嵐和彦北中小学校長、結城尊弘美原中学校長

所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会委員として、
議案第21号の議案説明のため出席。

中田利明泉小学校長、小太刀周和田小学校長、石井伸明北野小学校長、垣内眞哉小手指小学校長、櫻井誠若松小学校長、河野公子伸栄小学校教頭、大館直美三ヶ島小学校長、田中俊一松井小学校長、藤井宣文富岡小学校長、山下豊牛沼小学校長、米澤三八子並木小学校長、高瀬晃次宮前小学校長

所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会教科用図書調査専門員として、議案第21号途中より出席。

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴者 17人

6 開 会 本日の議案は、議案第15号から21号の7件。

議案第19号は、予算に関する審議のため、また「市内中学校の事案について」の報告については、個人に関する情報が含まれるため、また、率直な意見交換を行うため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項に基づき、非公開としたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

議事の進行上、非公開の議事及び報告は、協議・報告事項の後に行った。また、議案第20号及び議案第21号については、説明に時間を要するため、最後に審議を行った。

7 議 題

議案第15号 所沢市立幼稚園保育料徴収条例の一部を改正する条例制定について
資料に則り、安田教育総務課長から以下のとおり説明がなされた。

令和元年5月に子ども・子育て支援法を改正する法律が公布され、3歳から5歳までの児童が幼稚園・保育園等の教育・保育施設を利用する際の保育料が、令和元年10月から、原則として無償化されることとなった。このうち、所沢第二幼稚園のような、子ども・子育て支援新制度に移行していない幼稚園の保育料は、月額25,700円まで無償とすることとされた。

無償化に際しては、施設の確認や対象児童の認定等、市町村の事務として必要な事項があるが、それらの事務は、こども未来部が所掌して対応しており、令和元年第2回市議会定例会では「所沢市保育の必要性の認定等に関する基準を定める条

例」の一部改正が議決され、保育料無償化の根拠となる「子育てのための施設等利用給付の認定」に関する基準が定められたところである。

教育委員会としては、幼稚園を運営する事業者として、所管する第二幼稚園の保育料について、令和元年10月分から無償とする手続きを行う必要がある。

本案の条例改正については、保育料の月額9,500円はそのままに、子ども・子育て支援法に規定する無償化の認定を受けた場合は、保育料から法の定める額を減額するという構成になっている。法の定める額は25,700円であり、9,500円を上回る額であることから、実質的な保育料月額は無償となるものである。

保育料の額自体を無償としないことについては、「市町村の無償化認定を受けた場合は無償とする」という改正子ども・子育て支援法の趣旨に鑑みたものである。本案をお認めいただいた後は、令和元年第3回市議会定例会に議案を提出し、議決を受け、10月分の保育料から無償となる予定である。

以下、質疑。

(寺本委員)

私立の幼稚園も無償化になるのでしょうか。

(安田教育総務課長)

私立幼稚園に関しては、上減額の25,700円を超える差額は実費負担となります。

(吉本委員)

保育料以外にかかる費用はありますか。

(安田教育総務課長)

保育料以外の実費費用がある場合、例えば、私立幼稚園の通園送迎費や給食費、教材費などは無償化の対象となりません。所沢第二幼稚園に関しては、給食費や送迎費は元々ありません。

内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

議案第16号 所沢市立幼稚園保育料免除に関する規則を廃止する規則制定について

資料に則り、安田教育総務課長から以下のとおり説明がなされた。

議案第15号で説明したとおり、令和元年10月から、幼稚園の保育料が原則として無償化されることとなった。保育料が無償化されるため、保育料を免除する規則も不要となることから、これを廃止するものである。

質疑は特になし。

内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

議案第 17 号 所沢市体育施設設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について

資料に則り、廣谷スポーツ振興課長から以下のとおり説明がなされた。

所沢市パークゴルフ場について、令和 3 年度から指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上や、効率的な管理運営を図るため、所要の改正をお願いするものである。

改正の内容は、指定管理者による管理に関する第 15 条、第 17 条及び第 18 条の条文において、現在、「所沢市民武道館」のみ適用に係る部分に、「所沢市パークゴルフ場」を追加し、規定の整備を行うものである。なお、附則については、施行期日を令和 3 年 4 月 1 日とするものである。

以下、質疑。

(中川委員)

今後、指定管理を予定している施設はありますか。

(廣谷スポーツ振興課長)

現時点では、ありません。

(中川委員)

弓道場の現状を教えてください。

(廣谷スポーツ振興課長)

平成 27 年 3 月に廃止し建物も解体しておりますが、現在、市民武道館の中に、弓道場が設置されています。

内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

議案第 18 号 所沢市スポーツ推進委員の委嘱について

資料に則り、廣谷スポーツ振興課長から以下のとおり説明がなされた。

令和元年 6 月 30 日付けでスポーツ推進委員 2 名が解嘱となったが、その後任について、関係団体等に対して推薦依頼を行っていたところ、1 名の推薦依頼があったため、「所沢市スポーツ推進委員に関する規則」第 3 条に基づき、委嘱してよろしいか本会議にお諮りするものである。

このたび委嘱を予定する方は、地元のソフトボールチームに所属しており、体育協会吾妻支部の理事としてもご活躍されている方である。

質疑は特になし。

内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

8 協議事項

令和元年度所沢市教育委員会の事務事業に関する点検評価報告書について資料に則り、清水教育総務課主幹兼教育企画室長より、以下のとおり説明がなされた。

先月の定例会で、報告事項としてお示しした際に、方向性の「廃止・休止等」に関して、もともと単年度の事業や期間が限られた事業について、「廃止・休止等」と表示することは見直すべきではないか、という指摘があったため、今回の素案で修正を行った。

4 ページから 5 ページで、施策体系図として、「平成 30 年度の主な事業」一覧を掲載している。6 ページから 52 ページにおいては、各事業の点検評価を掲載している。53 ページから 57 ページでは、30 の指標について、達成状況の推移を掲載している。

58 ページから 61 ページでは、学識経験者の意見として、前のページまでの教育委員会が行った点検評価に対し、学識経験者 3 名からの意見を記載している。「(1) の点検評価報告書全般について」で、点検評価全般に関して、意見をいただいている。「(2) 各施策に対する評価について」では、10 の基本目標ごとに、ご意見の概要を記載している。『事業内容が増加傾向にあるが、学校における働き方改革に関しても総合的に取り組んでいただきたい』、『マチごとエコタウン構想を意識した取り組みを推進して、家庭をも含め、持続可能な社会の実現を目指してほしい。』などの意見をいただいた。

最後に、66 ページで「むすび」として、この度の点検評価の結果をまとめている。指標の達成状況において、いくつかの項目では、前年度よりわずかながら達成率が下降していたことから、「今後も改善に努めることが求められる」と記載している。

今後、本日の協議結果を反映したものを 8 月の教育委員会会議にてご審議いただき、議決後、市議会 9 月定例会に提出し、ホームページを通じて公表を行う。

以下、質疑。

(吉本委員)

32 ページの『施策の目標』に「学校内外の事件・事故を未然に防止するととも

に」とありますが、ここでいう事件・事故の中に、本年に市内中学校で発生したような事案も含まれると考えて良いのでしょうか。

(戸村学校教育部次長)

同ページの『これまでの取組状況』の中で、「生徒指導に関わる学校訪問で児童生徒や学校の実態を把握し、いじめ・非行問題行動の未然防止や対応について支援」と記載していますので、このたび発生した事案も含まれると理解していただければと思います。

(吉本委員)

もし、含まれているのであれば、施策の有効性の評価が「5」というのは適当なのでしょうか。

(戸村学校教育部次長)

いじめの防止については、各学校で取組を進めていただき、いじめの認知が適正に行われ、解消率も上がってきているところですが、有効性の評価が「5」ということは、評価基準に則ると、目標を全て達成できたことを意味しますので、このたびのような事案が発生したことを考えますと、有効性の評価について、見直す必要があると考えます。

(内藤教育長)

関連した部分として、20ページの「課題と今後の方向性」において、生徒指導体制を充実して再発防止に努めることや豊かな心を育成する教育の推進について、記載しています。

(中川委員)

「有効性」「必要性」「方向性」という評価に馴染まない部分もあると思うので、そのような部分を何とか表せたら良いなと思います。達成できたか、できなかったかということだけではないというニュアンスを表現できないかと思います。

また、情報開示に関して、現場の子供たちが傷つかないような対応をお願いしたいと思います。

(大岩教育長職務代理者)

いじめや不登校に関することは、生徒指導に関係してきます。そのように見ていくと、他のことにも関連がずっと広がっていくわけですが、最低限、いじめ・不登校・生徒指導体制などについては、特に有効性の評価を見直していただきたいと思っています。

(清水委員)

生徒の側からの情報発信をどう受け止めるかというところで、インターネットやLINEなどを活用した相談体制を充実させていくことが必要だと考えます。

昨今、AIの画像認証を用いて、その人が抱えているストレスや睡眠不足などが分かる技術が整いつつありますけれども、学校でもそういった最先端の機器を使うことで、校内で起きていることを事前に察知して対処するという相談体制の充実が検討されるべきだと思います。

(中川委員)

部活動について改革していると思いますが、それについての記述はありますか。

(安田教育総務課長)

今回の点検評価表は、昨年度事業の評価ですので、現時点で記述はありませんが、「所沢市『設置する学校に係る部活動の方針』」を定め、今年度運用を開始していることから、教員の負担軽減について記載がある26ページに加筆できるかどうかも含めて検討したいと思います。

(内藤教育長)

他に意見等ありますか。

《意見等なし》

(内藤教育長)

それでは、各委員の意見等を踏まえた対応をよろしく申し上げます。

9 報告事項

所沢市教育委員会後援等名義使用許可について(教育総務課)

所沢市教育委員会の7月から10月までの主な行事予定について(教育総務課)

「所沢市議会一般質問答弁要旨 令和元年第2回(6月)定例会」について

(教育総務課)

健康増進法改正に伴う教育委員会所管施設の受動喫煙防止対応状況について

(教育総務課)

第8回「ところざわ埋文まつり」の開催について(文化財保護課)

小野家住宅のなつやすみについて(文化財保護課)

学校給食センターサマーフェスタの開催結果について(保健給食課)

以下、質疑。

(吉本委員)

市議会一般質問答弁要旨についてですが、教科書採択に関して、発行者の具体名を出して質問があったようですが、このようなことは可能なのでしょうか。

(出居学校教育部長)

今回ご質問いただいたのは、現行で使用している教科書に関する内容と、採択の過程において、どのような話し合いがなされたかという内容でした。これから新しく採択される教科書に関しての内容ですと、発行者の具体名が出ることで公平で適正な採択への懸念が生じると思いますが、現行の教科書の採択の過程に関する質問でしたので、その経緯についてお答えいたしました。

(吉本委員)

すでに採択されて使用している現行の教科書に関しては、具体名が出てしまってもやむをえないということだと思えますが、もし、これからも様々な発行者に対して質問が出てきた場合に、教科書を公平に採択することに関して、影響が及びはしないかという懸念を抱きました。

(大岩教育長職務代理者)

受動喫煙防止についてですが、学校において、敷地内や校門付近でも禁煙となるという理解でよろしいですか。

(戸村学校教育部次長)

今回の健康増進法改正に伴って、学校の対応が変わるということではなく、これまでも敷地内は喫煙不可となっていました。敷地外の校門付近でということに関しては、児童生徒のことを考えると望ましくはないと考えますので、学校には注意喚起をしていきたいと思えます。

(大岩教育長職務代理者)

改修工事などで学校敷地内に工事業者の現場事務所が建てられることがありますが、その中で喫煙することも不可になったという解釈でよろしいでしょうか。

(森田教育施設課長)

学校敷地内は原則禁煙のため、事業者・学校・営繕課との打ち合わせの中で協力をお願いしています。

(千葉教育総務担当参事)

今回の法改正の趣旨は、望まない受動喫煙の防止です。法に則れば、原則敷地内禁煙となるのは第一種施設のみですが、教育委員会所管施設に関しては、子供の利

用が多いということもあり、体育施設に関していえば、健康増進を推進する施設でもありますので、教育委員会としては、法改正の趣旨を鑑み、体育施設や図書館等、第一種施設非該当の施設に関しても敷地内喫煙不可とすることにしました。

(内藤教育長)

埼玉県の認証は、どのように周知されていますか。

(清水教育総務課主幹兼教育企画室長)

埼玉県の認証についてですが、認証を受けるとステッカーが配布されますので、それが施設に貼られていることで、その施設が受動喫煙防止に積極的に取り組んでいることを示すことができます。また、狭山保健所のホームページにて、市内でどの施設が認証を受けているかについて、情報を公開しています。

(清水委員)

電子たばこやアイコスは、どのような扱いになりますか。

(安田教育総務課長)

電子たばこは対象外となりますので、喫煙可能です。アイコスに関しては、過熱式たばこということ、葉たばこを使用することから対象となりますので、禁煙となっている場所での喫煙は不可となります。

《傍聴者退室 午前10時55分》

10 議題

議案第19号 令和元年度教育委員会予算(9月補正)について(非公開)

《削除》

内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり可決された。

11 報告事項

市内中学校の事案について(非公開)

《削除》

《休憩 午後0時～午後1時》

1 2 議題

議案第 2 0 号 令和 2 年度使用中学校用教科用図書の採択について

出居学校教育部長から以下のとおり説明がなされた。

「特別の教科 道徳」を除く市内中学校の教科用図書の採択については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第 1 3 条の規定に基づき、別紙 1 の教科用図書の採択をお願いするものである。

また、市内中学校の令和 2 年度使用中学校用教科用図書「特別の教科 道徳」の採択については、同法第 1 4 条及び同法施行令第 1 4 条の規定、並びに、文部科学省初等中等教育局教科書課長通知「平成 3 1 年度使用教科書の採択事務処理について」平成 3 1 年 3 月 2 9 日付け 3 0 初教科第 3 3 号により、別紙 2 のとおり、平成 3 0 年度の採択と同一の教科用図書の採択をお願いするものである。

戸村学校教育部次長から以下のとおり説明がなされた。

適正かつ公正な教科書採択を行うために、今回の教科用図書の採択については、教育委員、選定委員、専門員、学校の教職員、教育委員会事務局の職員についても、同様の規定により今回の採択に関われるかどうかを確認している。

確認内容は次のとおりである。

- 1 令和 2 年度使用教科用図書の著作等に関与していません。
- 2 特定の教科書発行者と直接の利害関係を有しておりません。
- 3 教科書発行者の役員及び従業員並びにこれらの配偶者及び三親等内の親族はいません。

以上の確認を行い、今回の教科用図書採択を行っている。

教科用図書については、法令及び規則により 4 年間同一の教科書を採択することとなっているが、本年度の採択は、令和 2 年度の 1 年間のみ使用となる教科書の採択となる。これは、令和 3 年度からの新しい学習指導要領の全面実施に向けて、来年度、改めて教科用図書が採択されるためである。令和 2 年度使用中学校用教科用図書の採択については、平成 2 7 年度の採択の時と同じ学習指導要領に基づく教科書採択である。また、新たな教科書は発行されていないため、2 7 年度に本教育委員会会議で協議した教科書の中から、採択を行うこととなる。

したがって、本年度の中学校採択における教科書の調査研究に関しては、平成

27年度の時の調査資料を活用することとした。さらに平成28年度から本年度まで使用した教科書についての検証を含めた学校研究、教科書展示会に足を運んで頂いた方々のアンケート、各学校の保護者代表からのアンケート等、たくさんの意見もいただいた。それらを基に、所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会設置規則に基づき任命された、6名の校長と学校教育部長からなる選定委員会において、本市の生徒が使用するのにふさわしいと考える教科用図書について選定していただいた。

本日は、選定委員会委員が参加しているが、選定委員会委員長から本会議に推薦する教科用図書について、種目ごとに報告を行う。質疑と協議をいただく中から、来年度1年間使用する中学校用教科用図書の採択をお願いするものである。

今年度採択する教科用図書は、「国語」「書写」「社会 地理的分野」「社会 歴史的分野」「社会 公民的分野」「地図」「数学」「理科」「音楽 一般」「音楽 器楽合奏」「美術」「保健体育」「技術・家庭 技術分野」「技術・家庭 家庭分野」「外国語」の15種目である。本日は種目別に協議していただき、最後に、法令等により、平成30年度と同一の教科書を採択することとなっている中学校用教科用図書「特別の教科 道徳」とあわせての採決をお願いしたい。

(内藤教育長)

それでは、議案第20号の審議を行います。なお、採択につきましては、全ての種目の報告と質疑が終了しましたら、15種目分をまとめて行うことでよろしいでしょうか。

《異議なし》

(内藤教育長)

それでは、採択につきましては、全ての種目の報告と質疑が終了しましたら、15種目分をまとめて行います。

はじめに、選定委員会委員長より、令和2年度使用中学校用教科用図書の選定結果の概要について、説明をお願いします。

選定委員会委員長の野澤狭山ヶ丘中学校長より、以下のとおり説明がなされた。

本日採択していただく教科書は、令和2年度の1年間のみ使用となる。また、平成27年度の採択から新たに検定を受けた発行者がなかったことから、専門員を置かず、27年度資料をもとに、選定委員が教科書の調査研究を行った。

各中学校には、現在使用している教科書の使用実績を踏まえた研究、また現在使用している教科書以外に推薦したい教科書について依頼した。なお、各学校の研究報告書からは、現在使用している教科書について肯定的な意見が多く寄せられていた。

P T A 等会長など、保護者に教科書についてのアンケート調査の実施、教科書展示会に来場した方の意見を収集した。

選定委員会は7月17日(水)、全種目全ての発行者について、選定委員より研究報告を受けるとともに、学校研究結果やアンケート調査などをもとに選定を行った。

以下、選定委員会委員の野澤狭山ヶ丘中学校長より種目ごとの報告がなされた。

《国語》

国語の教科書は全部で5者であり、現在使用している教科書は、「光村図書出版」である。選定委員会では、「光村図書出版」の「国語」を推薦する。推薦する主な理由は、以下の2点である。

1点目の理由は、中学校3年間の系統性が図られ、生徒の発達段階に応じて、個性を引き出し、主体的に学習に取り組むことができる工夫がされていることである。説明的文章では、自然科学・社会科学・人文科学の幅広い分野から精選された教材が掲載され、文章構成・論理展開を学びながら思考力を高める工夫がされていることが特徴として挙げられる。

2点目の理由は、「単元のまとめ、系統性が整っており、理解しやすい構成になっている」「読み物以外の、話す・聞くの項目においても、生徒が理解しやすいように工夫されている」といった良さが学校研究において挙げられていることである。

《書写》

書写の教科書は全部で5者であり、現在使用している教科書は、「光村図書出版」である。選定委員会では、「光村図書出版」の「中学書写」を推薦する。推薦する主な理由は、以下の2点である。

1点目は、教材ごとに目標と振り返りを対応させ、生徒が主体的に考えながら活用できるよう工夫されていることが挙げられる。

2点目は、学校研究において「基礎的な指導事項について、わかりやすく説明さ

れている」「巻末の書写辞典は硬筆指導の際に役に立つものになっている」など、これまでの学習指導においての良さが挙げられている。

《社会（地理的分野）》

社会（地理的分野）の教科書は全部で4者であり、現在使用している教科書は、「東京書籍」である。選定委員会では、「東京書籍」の「新編 新しい社会 地理」を推薦する。推薦する主な理由は、以下の2点である。

1点目は、1時間の授業の学習課題、単元ごとの学習テーマが設定され、地理的な考え方を身に付けるための手立てが示されていることが挙げられる。学校研究の結果にも、同様の意見が寄せられている。

2点目は、「確認」として学習内容を再度考察し、自分の言葉でまとめる等、言語活動の充実が図られ、思考力・判断力・表現力等を高められるよう工夫されていることが挙げられる。

《社会（歴史的分野）》

社会（歴史的分野）の教科書は全部で8者であり、現在使用している教科書は、「東京書籍」である。選定委員会では、「東京書籍」の「新編 新しい社会 歴史」を推薦する。推薦する主な理由は、以下の2点である。

1点目は、歴史的分野の基礎的・基本的な知識・概念や技能を確実に定着させるために、1単位時間を見開き2ページで構成しており、学校研究の結果に、この構成であることによって「単元ごとのまとめがしやすい学習展開になっている」等の意見が寄せられている。

2点目は、導入資料から「学習課題」「確認」の流れで構造化し、学習内容が確実に身に付けられるよう工夫されていることが挙げられる。

《社会（公民的分野）》

社会（公民的分野）の教科書は全部で7者であり、現在使用している教科書は、「東京書籍」である。選定委員会では、「東京書籍」の「新編 新しい社会 公民」を推薦する。推薦する主な理由は、以下の2点である。

1点目は、学習課題に対して、本文と資料（写真やグラフ、新聞記事）を通して比較や読み取りを通して基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫がされてい

るところである。

2点目は、学習を深めるための教科書の基本構成として、各章の終わりに「この章の学習を確認しよう」「やってみよう」において、振り返りができ、言語活動を多く取り入れた構成となっているところである。学校研究では、この構成について、「自分なりに考察し、まとめる作業ができる」等の意見が寄せられている。

《地図》

地図の教科書は全部で2者であり、現在使用している教科書は、「帝国書院」である。選定委員会では、「帝国書院」の「中学校社会科地図」を推薦する。推薦する主な理由は、以下の2点である。

1点目は、自然、産業、歴史・文化などを調べる主題に沿って、地図と資料を随所に取り入れており、考える力を伸ばす工夫がされていることである。保護者アンケートにも「地図のしくみや使い方が丁寧に説明されているので、子供たちにも分かりやすい」という意見もいただいている。

2点目は、鳥瞰図やイラストを付した資料図等を用いて、地図の醍醐味である視覚的に地域の特色をとらえる構成になっていることである。

《数学》

数学の教科書は全部で7者であり、現在使用している教科書は、「啓林館」である。選定委員会では、「啓林館」の「未来へひろがる数学」を推薦する。推薦する主な理由は、以下の3点である。

1点目は、本冊とMathNaviブック（別冊）の構成で、生徒の実態や授業時数に応じて、幅広く学習できるような構成になっていることである。学校研究の結果においても、「MathNaviブックがより学力向上が見込まれる」等の意見をいただいている。

2点目は、「ふりかえり」において、既習内容とのつながりを重視しており、基礎・基本の定着が図られていることである。

3点目は、基礎的な知識・技能を活用する場面が意図的に設けられ、主体的な学習が展開されるように構成されているところである。

《理科》

理科の教科書は全部で5者であり、現在使用している教科書は「啓林館」である。選定委員会では、「啓林館」の「未来へひろがるサイエンス」を推薦する。推薦する主な理由は、以下の3点である。

1点目は、基礎的な知識・技能の習得として、「ふり返り」で既習事項を示し、本冊の「学習のまとめ」や別冊の「マイノート」で復習できる構成であることである。「マイノート」については、教科書展示会の保護者アンケートにおいて、「生徒たちがメモをとり、小テストもあり、学習に役立てるととても良いノートだと思う」との意見もいただいている。

2点目は、既習内容を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫がなされていることである。

3点目は、資料について、多彩な写真やイラスト・指示マークが掲載され、学習意欲が喚起されるよう、工夫がなされていることである。

《音楽（一般）》

音楽（一般）の教科書は全部で2者であり、現在使用している教科書は、教育芸術社である。選定委員会では、「教育芸術社」の「中学生の音楽」を推薦する。推薦する主な理由は、以下の2点である。

1点目は、「音楽学習MAP」では、学習指導要領に示された学習内容と各教材との関係や、歌唱・創作・鑑賞といった分野を横断した関連図が示されているところが挙げられる。学校研究の結果では「鑑賞のページで、その時代の日本では何が起きていたかが書いてあり、他教科の授業とリンクさせて授業を進めることができる」との意見が寄せられている。

2点目は、〔共通事項〕と関連させながら思考・判断することができ、その結果を、自分の言葉でまとめることができよう工夫されていることが挙げられる。

《音楽（器楽合奏）》

音楽（器楽合奏）の教科書は全部で2者であり、現在使用している教科書は、「教育芸術社」である。選定委員会では、「教育芸術社」の「中学生の器楽」を推薦する。推薦する主な理由は、以下の2点である。

1点目は、リコーダーなど楽器の基礎的な奏法についての資料が具体的で見やす

く、様々な打楽器について解説されているページもあるところである。

2点目は、基礎・基本の確実な定着を図るための教材配列の工夫や、豊富な写真や図等、ユニバーサルデザインに配慮した紙面になっていることである。学校研究の結果に「視覚的に訴える資料が多くとても良い」という意見もいただいている。

《美術》

美術の教科書は全部で3者であり、現在使用している教科書は「日本文教出版」である。選定委員会では、「日本文教出版」の「美術」を推薦する。推薦する主な理由は、以下の3点である。

1点目は、表現の過程を写真などで示し、巻末資料を確認できるようにすることで、見通しをもった主体的な学習を促す工夫がなされていることである。

2点目は、知識・技能の習得のために、題材ごとの資料に加え、巻末に技法や色彩等の資料を掲載し、必要に応じて参照できるようマークで示しているところである。

3点目は、生徒の興味・関心を高めるために、「鑑賞との出会い」のページ等を設けていることが挙げられる。学校研究の結果にも「生徒の興味を引く単元や参考作品が多く、説明もしやすいので、とてもわかりやすい」との意見をいただいている。

《保健体育》

保健体育の教科書は全部で4者であり、現在使用している教科書は、「東京書籍」である。選定委員会では、「東京書籍」の「新編 新しい保健体育」を推薦する。推薦する主な理由は、以下の3点である。

1点目は、ワイドな紙面に体育理論が保健編に続いて掲載されているところが挙げられる。

2点目は、「今日の学習」でねらいを明確にすることで学びの道筋を示し、ワークシートとしても活用できるよう工夫されていることである。

3点目は、「やってみよう」で調べたり考えたりすることで、課題を明確にした学習に活用できるように工夫していることである。学校研究の結果では「それぞれの学習で「やってみよう」「本文」「考えてみよう」「生かそう」という流れがあり、生徒も最終的に自分の生活に生かしたり、さらに調べたりできるように

なっている」との意見をいただいている。

《技術・家庭（技術分野）》

技術・家庭（技術分野）の教科書は全部で3者であり、現在使用している教科書は、「開隆堂出版」である。選定委員会では、「開隆堂出版」の「技術・家庭 技術分野」を推薦する。推薦する主な理由は、以下の2点である。

1点目は、学習内容ごとに「学習の目標」や「学習の振り返り」が明確に示されており、生徒自身が課題を見つけて、学び・考え、主体的に判断・行動し、問題を解決できるように構成されていることが挙げられる。学校研究の結果でも、「生徒が「めあて」をつかみやすい。豆知識もあってよいと思う」という意見をいただいている。

2点目は、安全教育や環境教育、情報モラルの視点も、学習内容と作業場面に関連付けて取り上げられていることである。

《技術・家庭（家庭分野）》

技術・家庭（家庭分野）の教科書は全部で3者であり、現在使用している教科書は、「開隆堂出版」である。選定委員会では、「開隆堂出版」の「技術・家庭 家庭分野」を推薦する。推薦する主な理由は、以下の2点である。

1点目は、学習内容ごとに「目標」「学習課題」「振り返り」を設け、学習の流れがわかりやすく、生徒自身が学習状況を自己評価し、学習内容が定着できるように構成されていることが挙げられる。学校研究の結果には「1ページあたりに情報が詰め込まれすぎておらず、生徒にとって親しみやすいと考えられる」という意見をいただいている。

2点目は、難易度の異なる実習・製作題材が掲載され、生徒の実態・興味・関心に応じて対応できるように工夫されているところである。

《外国語（英語）》

英語の教科書は全部で6者であり、現在使用している教科書は、「開隆堂出版」である。選定委員会では、「開隆堂出版」の「SUNSHINE ENGLISH COURSE」を推薦する。推薦する主な理由は、以下の4点である。

1点目は、各セクションが、Basic Dialog、Listen、Speak、Try、本文、そして

Write で構成され、4 技能の基礎が習得できるようになっていることが挙げられる。

2 点目は、各 Program のまとめとして、発展的な言語活動を行う構成になっているところである。

3 点目は、新出語句、辞書学習などが主体的に取り組めるように工夫されていることが特徴である。

4 点目は、実際に英語を使用する場面を想定し、発達段階に応じたコミュニケーション能力を高められるよう工夫されたページがあるところが挙げられる。

以下質疑。

(寺本委員)

国語についてですが、「教育出版」を推薦したいと思います。理由としては、扱われている小説の題材が優れていることと、古典の題材としてドラマティックな部分が選ばれているためです。

(吉本委員)

社会の公民的分野ですが、主な推薦理由の中で、「新聞記事」ということが挙げられているのですが、新聞に懐疑的な時代になってきている中で、新聞記事が推薦理由の1つとして挙げられていて良いのかと思いました。

また、評価基準の1つとして、学力向上があると思いますが、推薦理由の中に学力向上に関する記述が見受けられません。前回、教科書が変わった際に、学力調査の結果が以前と比べてどう変化したかという比較があると良かったと思います。

(寺本委員)

地図についてですが、ロシアに関する記述を2者で比較したときに、広さや国内の時差などについて細やかに盛り込まれているので、「東京書籍」の方が優れていると感じました。

(大岩教育長職務代理者)

現在使用している教科書に関して、学校からはどのような研究結果が出てきていますか。

(野澤狭山ヶ丘中学校長)

生徒が理解しやすいように工夫されているものが多い、写真や資料等が多く便利である、中学1年生から3年生までの流れを感じることができて系統立てて指導しやすい、などの意見が挙げられています。

(中川委員)

長く使っていると、その教科書に馴染む一方で、もう少しこうだったらという意見も出てくると思います。来年1年は、もう1年研究するという意味合いからも、現行の教科書を使って、様々な意見を出してもらうことが良いのではないかと思います。

(寺本委員)

現場の先生は、教科書が1年間だけ変わることになったら困ると思うので、中川委員の意見に同意しますが、英語に関しては、「I am」から始まるより、「Do you like」などから始まった方が、中学校1年生にとっての会話のシーンとしては良いのではないかと思います。いきなり「am」や「are」が出てくるよりは、「I like」で統一された方が話しやすく、自分の名前だけではなく、物の名前やスポーツの種目の名前も出てきますので、そのような視点から考えると「学校図書」を候補に挙げたいと思います。

(内藤教育長)

他に、選定委員の報告に対する質問はありますか。

《特になし》

(内藤教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。投票の方法は、種目ごとに1番ふさわしいと思う発行者に丸印を書く方法とし、1番得票数の多かった発行者を原案として採択することとしてよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

国語	「光村図書出版」	「国語」	5票
書写	「光村図書出版」	「中学書写」	6票
社会（地理的分野）	「東京書籍」	「新編 新しい社会 地理」	6票
社会（歴史的分野）	「東京書籍」	「新編 新しい社会 歴史」	6票
社会（公民的分野）	「東京書籍」	「新編 新しい社会 公民」	6票
地図	「帝国書院」	「中学校社会科地図」	5票
数学	「啓林館」	「未来へひろがる数学」	6票
理科	「啓林館」	「未来へひろがるサイエンス」	6票
音楽（一般）	「教育芸術社」	「中学生の音楽」	6票
音楽（器楽合奏）	「教育芸術社」	「中学生の器楽」	6票
美術	「日本文教出版」	「美術」	6票
保健体育	「東京書籍」	「新編 新しい保健体育」	6票
技術・家庭（技術分野）	「開隆堂出版」	「技術・家庭（技術分野）」	6票
技術・家庭（家庭分野）	「開隆堂出版」	「技術・家庭（家庭分野）」	5票
外国語（英語）	「開隆堂出版」	「SUNSHINE ENGLISH COURSE」	5票

（内藤教育長）

投票の結果、令和2年度使用中学校用教科用図書については、1番多くの票を得た上記の教科用図書を原案といたします。なお、原案となった教科用図書は、全て現在使用されている教科用図書となります。

令和2年度使用中学校用教科用図書について、内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し、原案どおり採択された。

前述のとおり採択された令和2年度使用中学校用教科用図書と併せて、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第14条に基づき、平成30年度の採択と同一となる中学校用教科用図書「特別の教科 道徳」（日本文教出版：中学道徳 あすを生きる）について、内藤教育長の採決により、出席委員全員が賛成し可決された。

《休 憩 午後1時55分～午後2時5分》

議案第 2 1 号 令和 2 年度使用小学校用教科用図書の採択について

出居学校教育部長から以下のとおり説明がなされた。

市内小学校の教科用図書の採択については、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第 1 3 条の規定に基づき、別紙 1 の教科用図書の採択をお願いするものである。

戸村学校教育部次長から以下のとおり説明がなされた。

小学校用教科用図書については、令和 2 年度からの新しい学習指導要領の全面实施に向けた教科用図書の採択の年である。教科用図書の採択については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 2 1 条第 6 号、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第 1 3 条に基づき、本市教育委員会で行うことになっていることから、教科用図書の採択をお願いするものである。

令和 2 年度使用小学校用教科用図書の採択については、所沢市立学校使用教科用図書選定委員会設置規則に基づき任命された、7 名の校長と学校教育部長からなる選定委員会において、本市の児童が使用するにふさわしいと考える教科用図書について教育委員会へ推薦する教科書として選定した。

本日は、選定委員会委員が本会議へ参加しており、各選定委員から全ての発行者の教科用図書に関する説明と教育委員会会議に推薦する教科用図書について種目ごとに報告を行う。質疑と協議をいただく中から、来年度から 4 年間使用する小学校用教科用図書の採択をお願いするものである。また、調査研究専門員代表者も本採択に向けた質疑及び協議に協力するため、参加させていただいている。

なお、信州教育出版社発行の「楽しい理科」及び「せいかつ」については、見本の送付がなかったため、専門員による調査研究は行っていない。

今年度採択する教科用図書は、「国語」「書写」「社会」「地図」「算数」「理科」「生活」「音楽」「図画工作」「家庭」「保健」「外国語」「特別の教科 道徳」の 1 3 種目である。本日は種目別に審議していただき、採決をお願いしたい。

選定委員会委員長の佐藤西富小学校長より、以下のとおり説明がなされた。

選定委員会は、所沢市立小・中学校使用教科用図書選定委員会設置規則第 2 条により、教科用図書について、協議・検討を行い、所沢市教育委員会に報告をするものとなっている。専門員による調査研究の報告書は、市内の校長、教頭及び

教諭で種目ごとに構成された調査専門員会を5月より4回にわたって開き、作成した教科書の調査研究報告と県の調査資料2を種目ごとにまとめたものである。

次に、教科書展示会の期間に合わせ、市内全32校に依頼した学校研究の集計結果、そして教科書展示会参加者からのアンケート、最後に保護者の代表であるPTA等会長等に教科書展示会にお越しいただき、ご回答いただいたアンケート結果を掲載している。さらに埼玉県調査結果報告等も参考にさせていただいた。

これらをもとに、選定委員会において3回にわたり協議をし、「所沢市の子供たちにとってふさわしい教科書」として教育委員会に推薦する教科書の選定を行った。

《国語》

選定委員会委員の本澤明峰小学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用されている教科書は、「光村図書出版」である。はじめに、一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、単元冒頭で既習内容を確認し、単元で身に付けさせたい内容を明示している。学び合いの学習については、同じ目的で書かれた文章の比較、挿絵の吹き出しに考えるヒントなど、話し合い活動がしやすくなる工夫があり児童が主体的に学べるようになっている。全学年で「言葉集め」のページを設け、身近にある言葉を集めたり、言葉の特徴や使い方について理解を深められるようにしたりしている。

「学校図書」は、単元を通した学習の方法や重要な言語活動が「国語のカギ」としてキーワードにまとめられ、つけたい力を確実に定着させるポイントや学習方法を示している。各単元の言語活動については、視覚的に、どのように考えるか、どのように伝え合うか示されている。単元冒頭で、学習活動の概要を一覧で提示し、児童が主体的に学べるようにしている。「季節のたより」において、写真やイラストを見て季節を豊かに感じ取りながら、日本語の美しさを味わえるようになっている。

「教育出版」は、各単元に、言語活動を行う上で要となる内容を「ここが大事」で示している。各領域に、「深めよう」「広げよう」「伝え合おう」という段階を設け、対話的な学びを促したり、イラストを用いて言語活動の場面をわかりやすく示したりしている。単元ごとの「単元のとびら」では目標と振り返りを連動させて身に付けさせたい力を意識させるように工夫されている。

「光村図書出版」は、各単元の最初のページに、「これまでの学習」を明記して学習の系統性を示し、「たいせつ」で身に付ける学習内容を明確にしている。「対話の練習」「コミュニケーションコラム」という項目を設置して、伝え合う力の育成を図っている。単元の手引きで学習過程と課題を照らし合わせることで、児童が見通しをもって取り組んだり、単元の終わりの「ふりかえろう」で、達成感を味わえるようにしたりしている。「言葉の宝箱」は言葉がカテゴリー別になっていて、語彙を豊かにできるようになっている。

次に、推薦する教科書とその選定理由の説明を行う。最も適しているものとして「光村図書出版」の「国語」が選定委員から最も多くの推薦があった。次に適しているものとして、「教育出版」の「ひろがる言葉 小学国語」が挙げられた。

「光村図書出版」を選定した理由は、次の3点が挙げられる。

1点目の理由は、知識・技能の習得を図るために、単元の最初に「これまでの学習」を明記して学習の系統性を示したり、単元末の「たいせつ」で単元で身に付ける学習内容を明確にしたりしていることが挙げられる。

2点目の理由は、学習場面での児童のつぶやき例をわかりやすい言葉で示し、交流のきっかけを作ったり、2年生からの「対話の練習」や3年生からの「コミュニケーションコラム」の項目で、伝え合う力の育成を図ったりしていることである。

3点目の理由は、単元の手引きにより学習過程を示し、学習過程と課題を照らし合わせることで、児童が見通しをもって取り組み、単元の終わりの「ふりかえろう」で、達成感を味わえるようにしていることが挙げられる。

「光村図書出版」は、学校研究の結果でも、学校からの支持も多く、学習過程が明確にされ、めあてのふりかえりが児童にわかりやすい工夫をしていることによつて、所沢市が目指している授業のスタンダードに活用しやすくなっている点から第1番目の推薦とする。

次に適しているものは、「教育出版」である。先に説明した「光村図書出版」に比べると、推薦の度合いは高くない。

「教育出版」を選定した理由は、次の3点である。

1点目の理由は、各単元に領域ごとのポイントである「ここが大事」で示し、言語活動を行う上で要となる知識、技能をまとめて掲載することで、学習や日常生活の中で活用できるように工夫されている点である。

2点目の理由は、各領域に、「深めよう」「広げよう」「伝え合おう」という段

階を設け、対話的な学びを促したり、イラストを用いて言語活動の場面をわかりやすく示したりしていることが挙げられる。

3点目の理由は、単元ごとに4～5段階の学びの手引きを提示し、学習過程を明確にすることで見通しをもち、学ぶ意欲を高めて取り組めるように工夫されていることや、巻末の付録ページや「言葉」の項目を設けることにより、学習する語句のまとまりを踏まえて語彙を豊かにできるようにされていることが挙げられる。

以下、質疑。

(中川委員)

所沢市は、読書活動を推奨していますが、子供たちが朝読書の時間に手にとって読みたいと思うような、本に対する興味を喚起する視点で見ると、「光村図書出版」はどのような工夫がなされていますか。

(本澤明峰小学校長)

読書に親しむ態度を育成するための工夫として、学校図書館の使い方を1年生から扱うことで、児童がすすんで学校図書館を利用するという意欲を高められると考えられます。

(寺本委員)

1年生の最初の頃の授業で、「光村図書出版」の良さはどのような点でしょうか。

(本澤明峰小学校長)

「光村図書出版」は、特に入門期の丁寧さを感じます。入学したばかりの1年生が、「勉強しよう」、「やってみよう」と思える内容になっている、との報告が専門員よりありました。

(寺本委員)

同意見です。授業を一斉の形でやっても成立する要素をもっていると思います。

(吉本委員)

「光村図書出版」と「教育出版」で、両者の差はどのような点にありますか。

(本澤明峰小学校長)

「光村図書出版」は、単元の終わりに「これまでの学習」という項目があり、過去の学びを振り返ることができ、振り返りの内容が適している点です。また、取り扱っている文学作品が適していることも挙げられます。

(内藤教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(内藤教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者について、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(内藤教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「教育出版」の「ひろがる言葉 小学国語」、
「光村図書出版」の「国語」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。所沢市の子供たちにとって1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「教育出版」6点、「光村図書出版」11点

(内藤教育長)

それでは、投票の結果、

「光村図書出版」の「国語」が候補となりました。

このあと、全ての種目の候補が決まりましたら、まとめてご議決いただきます。

《書写》

選定委員会委員の本澤明峰小学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使われている教科書は、「教育出版」である。はじめに、一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、教材を「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「ふり返っ

て話そう」の流れで構成することで、児童が主体的に学習できるようにしている。毛筆の運筆の仕方では、薄い朱墨の写真や「トン・スー・ピタッ」というような擬音語を活用して学習内容を理解しやすくしたり、「書いて味わおう」で、いろは歌や俳句、百人一首などを発達段階に応じてなぞり書きをするなど、児童の関心・意欲を高めたりしている点も特徴のひとつである。また、左利きへの配慮ページが設定されている。

「学校図書」は、各単元に「たしかめて書こう」を設けて児童自ら主体的に学習する方法を示してある。「考えて書こう」では、その時間で気をつけるポイントが記載されており、自己評価することができるようになっている。また、毛筆の筆使いでは、キャラクターの語りかけによって楽しく学習を進めることができ、各単元にある原寸大の手本とともに理解しやすい内容になっている。「生かして書こう」では、文語詩、俳句、短歌など、他の教科や日常生活の中で活用できる具体的な教材を設定して、毛筆・硬筆の関連を図るなど、書写学習への関心・意欲を高める工夫もされている。

「教育出版」は、教材を「考えよう」「ここが大切」「生かそう」の三段階で構成し、基礎・基本、活用、応用といった学習の流れをわかりやすく示している。点画の種類や「前の学年のまとめ」など、既習内容を繰り返し学習できる教材を設けることで基礎・基本の定着を図っている。また、毛筆学習の前後に硬筆による「ためし書き」「まとめ書き」欄を設けたり、「横書きの書き方」を扱ったりすることで、毛筆学習が硬筆学習に生かされるような工夫がされている。

「光村図書出版」は、巻頭に「学習の進め方」を示して自ら学べるように配慮されているとともに、毛筆教材と同様の硬筆課題を設定して毛筆と硬筆の関連を図るなど、構成にも工夫を凝らしている。ページの右下には「たいせつ」として基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるためのポイントが示されている。手紙や原稿用紙の使い方など、言語活動や日常生活との関連教材が随所にあり、指導内容も充実しており、児童の書写学習や国語への関心意欲を高める工夫がされている。自分の考えや思っていること等を文字化して、体感する場面が随所に用意されている。

「日本文教出版」は、巻頭に学習指導要領の指導事項を単元名として「学習のめあて」を示し、学習過程を「考える」「確かめる」「生かす」という3つのステップを踏むように段階的・系統的に配列されている。毛筆や硬筆を学習する際につまづきやすいポイントを解説したり、なぞり書きや教科書への書き込みをしたりする

など、書写の基本である点画の基礎や正しい字形を身に付けるための工夫がされている。後半部分の「学習をいかして」では、学んだことを日常生活や他教科領域で活かせるように工夫されている。

次に、推薦する教科書とその選定理由の説明を行う。最も適しているものとして「教育出版」の「小学 書写」を、次に適しているものとして、「光村図書出版」の「書写」を推薦する。

「教育出版」を選定した理由は、次の3点である。

1点目の理由としては、教材を「考えよう」「ここが大切」「生かそう」の三段階で構成し、見通しをもって学べるように工夫されており、「前の学年のまとめ」など、既習内容を繰り返し学習できる教材を設けることで基礎・基本の定着を図っている。

2点目の理由としては、毛筆学習の前後に硬筆による「ためし書き」「まとめ書き」欄を設けたり、「横書きの書き方」を扱ったりすることで、毛筆学習が硬筆学習に生かされるような工夫がされていることである。

3点目の理由としては、「知りたい 文字の世界」や「レッツトライ」、「書いて伝え合おう」、「知っておこう」など、児童の書写学習や国語への関心・意欲を高める教材・写真資料が複数用意されている。また、自分の考えや思っていること等を文字化して、体感する場があり、「考えよう」と児童に問いかけ、自分の課題に気づき、考える工夫があることが挙げられる。

次に適している「光村図書出版」の選定の理由は、次の3点である。先に説明した「教育出版」に比べると、推薦の度合いは高くない。

1点目の理由は、巻頭に「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という「学習の進め方」を示し、各教材のページの右下に「たいせつ」として基礎的・基本的な知識・技能を身に付けるためのポイントが示されており、自ら学べるような構成になっている。また、「理由をグループで話し合ってみよう」などといった表記があり、国語との関連を意識した作りになっていることが挙げられる。

2点目の理由は、毛筆教材と同様の硬筆課題を設定して毛筆と硬筆の関連を図るなど、構成にも工夫を凝らしている点や、穂先の向きや筆圧、運筆速度の変化など、毛筆学習の基礎基本を養う上での手立てや解説が、2色の薄墨を使ったり、写真やイラストなどを用いたりして丁寧にわかりやすく書かれていることである。

3点目の理由は、手紙や原稿用紙の使い方など、言語活動や日常生活との関連教材

が随所であり、指導内容も充実しており、児童の書写学習や国語への関心・意欲を高める工夫がされていることである。

以下、質疑。

(中川委員)

私も「教育出版」と「光村図書出版」が、とても良いと思いました。どちらも甲乙つけがたいのですが、その理由としては、例として出されているハガキの文面が良い点です。子供達に良い文章を書かせてあげたいという思いがありますので、上記のような点は優れていると思います。

1点確認したいのですが、日本の文化として毛筆に親しみをもてるような工夫を、推薦された2者ともしているとは思いますが、その点に関して、どのように捉えていますか。

(本澤明峰小学校長)

3年生から毛筆の活動が始まるということに関して、活動の様子や楽しい雰囲気大きな写真やイラストで示しているのが、推薦した2者でした。そのような点からも、子供達が書写活動に触れやすいきっかけになるのではないかと考えています。

(寺本委員)

書初めのお手本に注目すると、「教育出版」のお手本は、名前が本文の字の方へ明確に食い込んでいます。このようなお手本があることで、教える立場からすると、「こう書いていいんだよ」と言うことができます。本文と名前を別のラインに書こうとすると、どうしても名前が小さくなってしまいます。書初めは、廊下に貼られて本人の名誉に関わることでもあるので、私が教員をやっていたときは、名前は特にきれいに大きく書いてもらえるようにしていました。それが実現できるのが「教育出版」の教科書です。とても良く工夫されていると思います。

(内藤教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(内藤教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(内藤教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「教育出版」の「小学 書写」、「光村図書出版」の「書写」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「教育出版」11点、「光村図書出版」6点

(内藤教育長)

それでは、投票の結果、
「教育出版」の「小学 書写」が候補となりました。

《社会》

選定委員会委員の五十嵐北中小学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使われている教科書は、「東京書籍」である。はじめに、一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、問題解決の流れに沿った各段階のポイントが明示されている。具体的には学習過程を「つかむ・調べる・まとめる・いかす」とし、学習段階を色分けして分かりやすく示している。また、学習場面に応じて「まなび方コーナー」を設け、資料の読み取り方や調べ方、まとめ方を具体的に示し、知識・技能の定着が系統的に図られるよう配慮している。「まとめる」場面では、話し合う、発表する、文章でまとめるなど多様な表現活動を提示し、思考力・判断力・表現力等の育成を図る工夫をしている。

「教育出版」は、巻頭に「学びの進め方」が示され、各学年の発達段階に応じて

問題解決的な学習が進められるよう配慮されている。随所に「やってみよう」を設定して作業的・体験的な活動を効果的に示している。また、学習展開の「モデル図」や「学習計画を立てる場面」を例示し、児童が見通しをもって学習を進められるような工夫がある。

「日本文教出版」は、「見方・考え方コーナー」で、社会的な見方・考え方を働かせる手立てを「空間」「時間」「関係」の3つの視点で示している。単元の導入では、児童が自分の生活経験や資料の読み取りから見出した疑問をもとに学習問題を設定し、見通しをもって追究することができるよう工夫している。

次に、推薦する教科書とその選定理由の説明を行う。最も適しているものとして、「東京書籍」の「新しい社会」、次に適しているものとして、「教育出版」の「小学社会」を推薦する。

「東京書籍」を選定した理由は、次の3点である。

1点目の理由は、社会的な見方・考え方を「空間」「時間」「相互関係」の3つの視点と方法(考え方)でとらえ、キャラクターの囲みでわかりやすく示している。

2点目の理由は、5・6年生の学習において埼玉県内を事例として取り上げ、特に5年生の「生活と森林」の単元では、本市も取り上げている。

3点目の理由は、社会参画の視点からは、実社会に生きる人々の姿を通して、共感的に学び、自分の生き方についても考えられるように工夫されている。

「教育出版」を選定した理由は、次の2点である。

1点目の理由は、単元を貫く学習問題を「みんなでつくった学習問題」として示し、1時間ごとのめあてを「この時間の問い」として明示している。

2点目の理由は、学習に必要な用語を「キーワード」で示し、「まとめる」で再掲することで、学習内容の定着が図れるよう工夫している。先に説明した「東京書籍」と比べると、推薦の度合いは大きくない。

以下、質疑。

(寺本委員)

「東京書籍」の6年生の最後の方に、『日本とつながりの深い国々』という章があり、大韓民国に6ページを割いていて、アメリカ・中国・サウジアラビアも6ページずつで対等に扱っています。他の出版社に関しては、大韓民国について、2ページしか割いていなかったり、扱っていません。大韓民国との現状を鑑みたときに、6ページをきちんと割いていて、冷静に平等に見ている教科書は素晴らしいと思います。そのようなことを知った

上で、大韓民国と日本の間にはどのような問題があるのか、というように展開されていくべきだと思いますので、きちんと取り扱っている「東京書籍」を推薦したいと思います。

(内藤教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(内藤教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(内藤教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しい社会」、「教育出版」の「小学社会」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「東京書籍」12点、「教育出版」5点

(内藤教育長)

それでは、投票の結果、

「東京書籍」の「新しい社会」が候補となりました。

《地図》

選定委員会委員の五十嵐北中小学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使われているものは、「東京書籍」である。はじめに、一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、今回の改訂で地図帳が第3学年より配布使用されることを考慮し、巻頭のイラストマップで、地図帳導入期の児童にも楽しみながら調べ、地図に親しむことができるよう配慮した構成となっている。また、地図の基本が理解できるように鳥瞰図や真上からの図などを取り上げて、入門期の児童にも容易に理解することができるように工夫している。日本の歴史や世界遺産の登録地に関する写真、資料が豊富で歴史学習にも活用できるようになっている。

「帝国書院」は、3年生からの地図使用に対応した構成となっている。具体的には、「地図のやくそく」「地図の使い方」で索引や方位、縮尺などの基本的な使い方について分かりやすく説明されている。また、「広く見わたす地図」では、児童が各地域の特色をとらえやすいように、その地域の名産品や観光地のイラストを用いて、興味もてるように工夫して示している。「地図マスターへの道」「トライ」を設け、児童が主体的に地図帳を活用したくなるよう工夫している。世界遺産や世界ジオパークの登録地、天然記念物なども個別の記号により地図中に示されている。

次に、推薦するものとその選定理由の説明を行う。最も適しているものとして、「帝国書院」の「楽しく学ぶ小学生の地図帳」を推薦する。

「帝国書院」は、選定委員の多くが推薦に賛成し、その理由は次の3点である。

1点目の理由は、地図入門期の3年生を意識して、巻頭で地図帳の使い方について分かりやすく説明している。

2点目の理由は、統計資料は見やすく色分けされており、索引は地名の前にその種類を表す記号が示され、4色で色分けされている。また、資料図が随所にあり、児童の主体的な調べ学習を行う上で有効である。

3点目の理由は、「地図マスターへの道」や「トライ」により、子供たちが主体的に地図帳を活用したくなるような工夫がなされている。具体的には、問いに答えていくことで対話的な学びを実現しながら地図帳の活用法や社会的な見方・考え方を身に付けることができるように工夫されていることである。選定委員の話し合いの中では、大方が「帝国書院」を最も適しているものと判断したため、「帝国書院」を推薦する。

以下、質疑。

(寺本委員)

各学校の研究の結果と選定委員の推薦の結果が逆転しているようですが、それについてはどのような判断がなされたのでしょうか。

(五十嵐北中小学校長)

選定委員会での協議では、一番重点が置かれている3年生の入門期から、という点で、「帝国書院」は地図帳の使い方について、手厚く子供たちに示されているということが挙げられました。また、全体的な色調について、「帝国書院」の方が、色合いやコントラスト、文字の配列が見やすいということで推薦しました。

(寺本委員)

「東京書籍」は、1から3ページ目の世界地図に国名が書かれていません。3年生からの入門として授業をするとしたら、この教科書の方が面白いと思います。

「帝国書院」と「東京書籍」の違いは、北方領土の示し方にもあります。「帝国書院」は、樺太と千島列島に関して、30ページ目で白く塗られていて、「帰属が未定になっています」と書いてあります。「東京書籍」は、樺太に関して、16ページ目で「豊原」、カッコ書きで「ユジノサハリンスク」という記載があり、帰属については書いてありません。現在、北方領土に関しては、樺太についてまでは問題になっていないと思うので、問題になっていないことまで入れる必要があるのかなという疑問をもちました。

(中川委員)

「帝国書院」は、29ページ目で排他的経済水域や領海について、子供が見たときに、分かりやすく書いてあります。また、3年生から使用することをとても意識して作っている印象を受けます。子供が「地図って何だろう」と疑問をもって学習に入っていくときに、とっつきやすい作りになっていると思います。

(内藤教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(内藤教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった1者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

(寺本委員)

先ほど申し上げた意見のとおり、「東京書籍」を推薦したいと思います。

(内藤教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しい地図帳」、「帝国書院」の「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「東京書籍」7点、「帝国書院」11点

(内藤教育長)

それでは、投票の結果、

「帝国書院」の「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」が候補となりました。

《算数》

選定委員会委員の依田中央小学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使われている教科書は「東京書籍」である。はじめに、一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、身近な事象を随所に取り上げ、児童が興味をもち主体的に学習に取り組むことができるように工夫している。また、問題解決的な学習を重視し、既習内容をもとに式や図、言葉などを用いて解決方法を考えたり、説明したりする活動を取り入れている。

「大日本図書」は、数学的な思考力・表現力を育成するために、問題解決的な学

習ができるようなページ構成や吹き出しヒントが示されている。学年を1冊の合本にすることで、学年内の単元の振り返りを容易にするとともに、学習の見通しがもてるように全ての時間に学習のめあてを示している。

「学校図書」は、巻頭に「3つの学びの力を育てよう」が設定されており、思考力・判断力・表現力等の具体的な力が示されている。教科書は横長A B版で、色覚特性に配慮している。6年間の学習の考え方をまとめた別冊や、中学校の数学の問題を設けるなど、系統性を意識した構成となっている。

「教育出版」は、児童が興味・関心をもって学習を進められるように、問題・発見の過程を「はてな」「なるほど」「だったら」の吹き出しで示し、児童の問いの連続で学習を進められる構成になっている。また、コンパスや分度器の器具の使い方も分かりやすく掲載している。

「啓林館」は、単元の始まりに「じゅんび」で既習事項を確認して授業が始められるようになっている。全ての時間にめあてが明確に示され、児童が主体的に取り組める構成になっている。筆算の手順が細かく示され、また、二次元コードが随所に掲載され、資料が閲覧できるようになっている。

「日本文教出版」は、主体的・対話的で深い学びを実現するために、「どんな問題かな」「考えよう」「学び合おう」「振り返ろう」という過程から児童が筋道を立てて考え、算数の言葉で伝え合えるように構成されている。和食や和算など伝統・文化に親しみがもてる題材により、児童が興味をもつように工夫されている。

次に、推薦する教科書とその選定理由の説明を行う。最も適しているものとして「東京書籍」の「新しい算数」、次に適しているものとして「啓林館」の「わくわく算数」を推薦する。

最も適しているものとして「東京書籍」を推薦する主な理由は、次の3点である。

第一に、「学習のとびら」で算数の学習の流れやノート書き方を示し、また、内容を学ぶ過程で、数学的な見方・考え方を育む構成になっている。この見方・考え方の可視化を意識した紙面は、所沢市の児童にとって自分で考え、表現する力を育成する上で、大切と考える。

第二に、1年 はA 4版の教科書で、幼保小の接続を意識し、イラストが大きく、ノートの機能ももたせている。

第三に、全学年、単元末や巻末の問題は、習熟度に応じて取り組めるように問題を色分けしたり、発展問題へのリンクを用いたりしている。

学校研究では多くの学校が「ふさわしい」と判断している。また、選定委員の多くが推薦に賛成したため推薦する。

次に、適しているものは「啓林館」である。推薦理由は、次の3点である。

第一に、単元の始まりに「じゅんび」で既習事項を確認し、知識・技能の習得に備えている。児童が主体的に学習を進められるように、「めあて」が毎時間設定され、「まとめ」へとつながる学習の流れで構成されている。

第二に、多くのページに二次元コードが掲載され、資料が閲覧できるようになっている。

第三に、巻末の「もっと練習」では習熟度別学習に対応した問題があり、児童に応じて知識・技能の定着・維持が図れるように配慮され、また、「算数資料集」では、説明のしかたや図の書き方など表現方法を手助けする資料がある。所沢市の児童が主体的に学ぶことができ、深い学びにつながる構成となっている。

以下、質疑。

(中川委員)

「東京書籍」は、総合的に見てバランスが取れているという印象を受けました。子供たちを引きつけられる作りになっていて、学力を伸ばすことができるという点で良いと思いました。

「啓林館」は、全体的に簡素な印象を受けました。特に1年生の初めの方ですが、これで興味を引かれる児童は少ないのではないのでしょうか。また、イラストが分かりづらく、古い印象も受けます。子供たちにとっては、そのような部分も大事なのではないのでしょうか。

(清水委員)

数や数字に対する興味をもたせて、苦手意識をもたないようにしないといけないという点において、小学校1年生の算数は、非常に大事だと思います。その観点から、算数の導入部に、興味を失わないような工夫をしている教科書はありますか。

(依田中央小学校長)

特に、「東京書籍」は、他者と比べて大き目の教科書になっていますので、ブロックをそのまま置くことができ、1対1の対応が可能です。また、第二單元までは幼・小の接続を意識した内容になっていたり、ノートの機能をもたせたりして、工夫がなされています。

(寺本委員)

「東京書籍」を推薦します。5年生の通分について、一番丁寧に扱っているのが「東京書籍」です。子供がどこでつかえてしまうかをよく観察していて、そこについての説明が本当に丁寧になされていると思います。他にも、「家でこれについて調べてきてください」といってペッ

トボトルを取り上げるなど、低学年の内容において、具象物が一番良く出てくるのも「東京書籍」の教科書です。1年生の最初だけ薄くなっているのも、何とか算数を嫌いにさせない涙ぐましい出版社の努力を感じます。また、絵を数える場面で、例えば、ただ「9」という数を数えるだけではなく、発展的な取組ができる子に対しては「 $5 + 4$ 」という数え方もできるようになっていますので、それぞれの子供のレベルで興味・関心を引ける内容になっていると思いました。

(大岩教育長職務代理者)

学習指導要領では、主体的で深い学びを求めている中で、どの教科にも言えることかもしれませんが、子供たちの興味を引こうと教科書が工夫されていった結果、サービス過多の内容になってしまっているとしたら、逆に主体的で深い学びから離れていって、子供たちが与えられたものをそのまま取り組んでいくことになってしまうのではないかと、という気がしますが、自分で考えて課題を色々な方向で解決しようという部分に力を入れている教科書はありますか。

(依田中央小学校長)

主体的で深い学び、ということについては、昨今、主流になっているところでありますので、各者努力していると思います。「東京書籍」においては、巻頭に黒板の図を用いて、学び方や問題解決の過程における大事な視点を示していたり、「啓林館」においても、黒板の図が示され、算数をどのように学ぶかという説明があったりするので、この2者どちらにおいても、教師がその姿勢で授業を展開し、子供たちもその気持ちが4月に定着されれば、問題はないと考えます。

(吉本委員)

小学校と中学校で同じ出版社の教科書を使った方がより系統だって良いのか、それとも違う教科書を使っても、それほど影響はないのか教えてください。

(依田中央小学校長)

小学校の学習内容が定着していれば、中学校でどの出版社の教科書を使っても差異はないと考えます。それよりも、1年生の最初の時期は、好きになるか嫌いになるかという大事な時期になりますので、その入り方が一番重要になってくると思います。

(吉本委員)

算数という教科の全体を見ながら、好きになるとか色々言われていますが、明らかに算数は、子供によって知識・技能の差が出てくる教科です。それに対して、「全体でこうだ」という捉え方が正しいのかどうか。先ほど、「啓林館」は、児童に応じて知識・技能の定着・維持が図れるように配慮されている、と説明がありました。

「子供に応じて」という部分が非常に重要で、個々の差があることは間違いないことですから、その子供の差をきちんと理解して授業ができるということを取り上げなければならず、この教科書が良いからこの教科書を一遍通りやったら良い、という選び方はやめた方が良くと思います。特に、数学・理科に関しては、非常にそこがナイーブな問題になるのでやめていただきたいと思います。そういう意味で、私は「啓林館」を推薦します。

(内藤教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(内藤教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(内藤教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しい算数」、「啓林館」の「わくわく算数」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「東京書籍」10点、「啓林館」8点

(内藤教育長)

それでは、投票の結果、
「東京書籍」の「新しい算数」が候補となりました。

《休 憩 午後 3 時 2 0 分～午後 3 時 3 0 分》

《理科》

選定委員会委員の佐藤西富小学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用している教科書は「東京書籍」である。はじめに、一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、巻頭の「理科の学び方」において、問題解決の過程を示し、問題解決的な学習過程を重視した構成になっている。対話や話し合いを通して、多様な考え方に触れ、自分の考えを深めることができるように工夫されている。

「大日本図書」は、どの単元も「問題」「予想」「計画」「観察(実験)」「考察」「結果」の問題解決的な学習の流れで構成されている。同一の実験を複数の方法で検証する例が掲載され、「考察」では、実験結果を基にした発言例が示されていて、話し合いを通して結論を導きだせるような構成になっている。

「学校図書」は、単元の導入で日常生活に関連する写真や、単元を通して身に付けたい理科の力が具体的に示されている。思考のフローチャートが多用されていて、論理的思考で結論に迫っていくことができるように工夫されている。

「教育出版」は、単元の導入では、日常生活に関連する写真を示し、主体性を導き出す工夫がされている。観察・実験の結果を表や写真で示し、予想と実験結果を比較しながら考察するようにしている。

「啓林館」は、問題解決の過程を巻頭に示し、学習の進め方の見通しをもたせる配慮がなされている。観察・実験前の話し合いの視点や、予想を絵や吹き出しで示し、児童が見通しをもって取り組めるように工夫している。

次に、推薦する教科書とその理由について報告する。最も適しているものとして、「東京書籍」の「新しい理科」、次に適しているものとして、「啓林館」の「わくわく理科」を推薦する。

「東京書籍」を推薦する理由は、次の 4 点である。

一つ目の理由として、「理科の学び方」で問題解決の過程を示し、学び方に詳しく

い流れを説明している。ここでは、考える視点を示すコメントがキャラクターの吹き出しで表現されており、児童が主体的に学べるよう工夫がされている。

二つ目の理由として、どの単元においても「考えよう」「ふりかえろう」の時間には、対話や話し合いを通して、他者の多様な考え方に触れ、自分の考えを深めることができるような構成になっている。

三つ目の理由として、観察・実験の結果を根拠に考察がしやすくなっているため「観察・実験」と「結果」「まとめ」が同じ見開きにならないような構成にもなっている。

四つ目の理由として、特に3年生の教科書においては、理科導入期の児童にとって見やすいフォントや適度な文字数などが特徴である。また「レッツスタート！」という単元導入が詳しく掲載されている点では、教師にとっても扱いやすい教科書となっている。

以上の事を踏まえると、所沢市の児童にとって、「めあて」「見通し」をもって主体的に学習でき問題解決がしやすい学習の流れを重視したもの、また学校研究の結果でも、学校からの支持が多いことから推薦する。

「啓林館」を推薦する理由は、次の4点である。

一つ目の理由として、「自然の不思議を、解き明かそう」で学習の進め方を詳しく説明し、教科書で使われているマークも指し示し、児童が見通しをもって取り組めるよう工夫がされている。

二つ目の理由として、「問題をつかもう」では、観察・実験前の話し合いの視点や、予想を絵や吹き出しで示し、児童が見通しをもって取り組めるよう工夫されている。

三つ目の理由として、観察・実験の結果を根拠に考察しやすくなっているため「観察・実験」と「結果」「まとめ」が同じ見開きにならないような構成にもなっている。

四つ目の理由として、巻末の資料については、児童が主体的に学ぶための観察・実験に必要な技能の手助けとなるものがまとめられていて、思考を補うものとして配慮された資料といえる。

以下、質疑。

(寺本委員)

「東京書籍」は、授業を進める上でやりやすいレイアウトになっています。見開きの2ペー

ジを開かせて、先のページに行かせないようにしてあるので、「この後どのような道具を用意して、どのような実験をするのか」と考えさせることができます。考える力を引き出そうという視点で、「東京書籍」は優れていると思います。

私は、子供たちの取り組みやすさが大切だと思っていて、授業の流れや家でどのように自習したら良いかの見通しが立てやすい内容になっているという点でも優れていると思います。

(吉本委員)

理科・算数は、子供の習熟度が違うと思います。早く覚えたい子は早く覚えられるというのは大事だと思いますし、時間のかかる子は時間のかかるやり方があると思います。これまでは、「進んでいる子は自分でできるからいいよ」という風にしてきたと思いますが、そうではなくて、学校教育においても、そういう子もきちんと把握して授業を行ってほしいと思います。そういう意味では、「東京書籍」の扱いやすさはあるかもしれませんが、変化を起こして、「啓林館」を推薦したいと思います。

(清水委員)

中学校に繋がるものとか、それだけではなく、とんでもない発明・発見が子供の段階で起こることもあると思うんですが、そういう意味で、この教科書ではここまでですよ、という天井がないと言いますか、小学校はここまで、という限定的なものではなくて、天文学者や物理学者が考えるようなことまでできるような自由度のある内容の教科書はありましたか。

(佐藤西富小学校長)

その点に関しては、なかなか申し上げられませんが、近年どの教科書においても、「持続可能な社会を作る」ということが、6年生の最後の単元になっていて、「東京書籍」は、SDGsに関すること、「啓林館」では持続可能な社会を作るということで、本質的な問いを求めるような、まとめになっています。

(清水委員)

基礎的な科学をしっかり学んでいると、大人が考えられないようなことを子供たちが発想できるようにするのではないかと思いますので、そのあたりが重要ではないかと思います。

(内藤教育長)

アクティブラーニングの観点から、実験を上手く使って対話的な深い学びに繋がる内容はありましたか。

(佐藤西富小学校長)

特に、「東京書籍」に関しては、問題から予想、そして「計画をしよう」ということで、その実験に対して、どのような計画を立てるかということが書いてあります。その「計画をしよ

う」の中で、対話をして目的をもって実験を進めていこう、という教科書になっています。

(内藤教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(内藤教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(内藤教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しい理科」、「啓林館」の「わくわく理科」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「東京書籍」10点、「啓林館」7点

(内藤教育長)

それでは、投票の結果、

「東京書籍」の「新しい理科」が候補となりました。

《生活》

選定委員会委員の依田中央小学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使われている教科書は「東京書籍」である。はじめに、一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、広い紙面を活用し、大きな写真や挿絵、学習活動に有効な思考に沿ったツールを掲載しており、学習への関心・意欲を高める工夫をしている。また、振り返りを重視し、学習の発展や生活に生かせるように意識された構成になっている。

「大日本図書」は、季節の変化を意識し、上巻から下巻へと発達段階に即した構成となっている。見開きのページが随所にあり、児童の興味・関心を高める工夫がされている。巻末には「がくしゅうのどうぐばこ」が設けられ、学習の手助けとなっている。

「学校図書」は、生活科の学習目標を達成するために、内容を5つの活動領域「探検」「栽培」「遊び」「飼育」「家族・成長」に整理し、学習のねらいをはっきりさせている。巻末には「生活科学び方図かん」を設け、気づきの質を高めるように工夫している。

「教育出版」は、学習の基盤となる「きづく」「じぶんでできる」「かんがえる」「つたえる」「ちょうせんする」「じしんをもつ」の6つの力を引き出す構成になっている。「何をかんじたかな」では、自己を振り返りながら学びが進められるようになっている。

「光村図書出版」は、全ての単元が「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階で構成され、学習の流れやねらいが分かりやすく、見通しをもって学習できるように工夫されている。幼保小の接続、他教科や中学年以降の学びに接続する活動が設けられている。

「啓林館」は、単元の構成が「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階に整理されており、学習活動の流れを明確化し、多様な児童にも分かりやすくなっている。導入では、子供の日常生活から始まり、活動に対して思いや願いを高める工夫がされている。

「日本文教出版」は、小単元の学習内容が見開きにより、学習の見通しがもちやすくなっている。資質・能力の「三つの柱」に即した学習のめあてが提示されている。「ちえのわざのたからばこ」が掲載され、児童が主体的に知識及び技能を習得

できるようになっている。

次に、推薦する教科書とその選定理由の説明を行う。最も適しているものとして、「東京書籍」の「新しい生活」、次に適しているものとして「大日本図書」の「たのしいせいかつ」を推薦する。

最も適しているものとして「東京書籍」を推薦する主な理由は、次の3点である。

第一に、広い紙面を活用し、大きな写真や活動意欲を高める挿絵を配置している。また、四季によって色を変えた構成がされており、学習への興味・関心を高める工夫がされている。

第二に、実物大の動植物を掲載した「ポケットずかん」は切り離して野外に持ち出すことができ、学習効果を高める工夫をしている。また、振り返りを重視し、学習の発展や生活に生かせるような構成になっている。

第三に、所沢市が推進している幼保小の連携にもつながるスタートカリキュムでは、幼児期の終わりまでに育てほしい姿がイラストと保護者向けのメッセージで分かりやすく示されている。

なお、学校研究では多くの学校が「ふさわしい」と判断している。また、選定委員の多くが推薦に賛成しているため、推薦する。

次に適しているものは、「大日本図書」である。推薦理由は、次の3点である。

第一に、季節の変化を意識した構成や、上巻から下巻へと発達段階に即した構成となっている。

第二に、大きな写真や「たんけんカメラ」、白黒の写真などで児童の意欲を高め、具体的な活動へと導く工夫がされている。

第三に、「めあて」にあたる学習活動や振り返りが分かりやすく書かれたり、「かくしゅうのたまてばこ」で、動植物の様子をはじめ、情報の収集と表現方法等様々な例が載せられ、学習の手助けとなっていたりし、所沢市の目指す授業のスタンダードに沿った学習活動を展開することができる作りになっている。

以下、質疑。

(寺本委員)

生活科は野外の活動があることを考えたときに、「東京書籍」は、例えば、スズメバチや漆のかぶれなどについて取り上げられています。今日どこかへ出かけようというときに、「教科書のこの部分を見て」というように使うことができます。家に帰ってからも、親と一緒に読めるのではないかと思います。「大日本図書」は、イラストがきれいで工夫もあるのですが、前

述のような点で「東京書籍」の方が優れていると思いました。

(大岩教育長職務代理者)

一般の教科は、学んだことを生活の中で活用する傾向が強いと思いますが、生活は、実物から色々なことを感じ取って、それから学ぶという要素がたくさんあると思います。そのような点で優れていた出版社はありますか。

(依田中央小学校長)

「東京書籍」は、何をするのか、何ができるようになるのか、ということが自分で分かるようになっていて、子供自身が学びの見通しを立てやすい内容になっています。「大日本図書」は、躍動感のある写真で引きつけられる作りになっていて、「たんけんカメラ」や後半の豊富な資料で主体的な学びを進められる工夫がされています。また、めあてがきちんと出ていて、振り返りもキャラクターの会話や観察ノートでまとめられるようになっていることを鑑みると、見通しが立てられる内容になっていると考えます。

(中川委員)

「東京書籍」は、保護者の皆様へというインターネットのコンテンツがありますが、生活科は、保護者を巻き込んでいった方が良い教科なのではないでしょうか。その観点からいくと、そのような作りになっている教科書の方がポイントとしては高くなるのでしょうか。

(依田中央小学校長)

確かに、「東京書籍」は、二次元コードがあり、保護者の方にもうったえかける内容があります。「大日本図書」は、遊び道具を作るところに、作り方や遊び方が紹介されています。

(内藤教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(内藤教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(内藤教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しいせいかつ」、「大

日本図書」の「たのしいせいかつ」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「東京書籍」10点、「大日本図書」7点

(内藤教育長)

それでは、投票の結果、

「東京書籍」の「新しいせいかつ」が候補となりました。

《音楽》

選定委員会委員の佐藤西富小学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使用している教科書は「教育芸術社」である。はじめに、一覧の順に説明を行う。

「教育出版」は、主要な部分とされる題材と巻末にある選択楽曲という構成により、基本的な内容から発展的な内容へと進められるよう配慮されている。また、子供たちに親しみやすい楽曲が幅広く提示されている。

「教育芸術社」は、音楽を通して、児童の興味関心が多角的に広がるような工夫がされている。キャラクターの吹き出しにより、「学びのヒント」や活動例を示すなど児童が音楽表現を工夫したり、良さを味わいながら聞いたりするための情報が随所に示されている。

次に、推薦する教科書とその選定理由の説明を行う。最も適しているものとして、「教育芸術社」を推薦する。推薦する理由は、次の4点である。

一つ目の理由として、音楽を通して、児童の興味関心が多角的に広がるような工夫がされている。歌や演奏の表現方法により、いろいろな人と関わりや自己が成長できたことが分かるような工夫がされている。

二つ目の理由として、児童の思考の流れに沿うような活動手順が示されていて、図や写真が効果的に配置されている。また、楽器の持ち方や奏法が図や写真で具体的に紹介されている。

三つ目の理由として、多様な学びに対応するために、曲紹介や動画などのコンテンツを閲覧できる2次元コードを教科書の内容に対応させ活用できるように工夫されている。

四つ目の理由として、どの学年にも「こころのうた」「歌いつごう日本の歌」があり、生涯にわたり歌い継いでいけるような童謡や唱歌が豊富に取り上げられている。

また、学校研究の結果でも、学校からの支持が多いことが挙げられる。

以下、質疑。

(内藤教育長)

ご意見、ご質問はございますか。

《特になし》

(内藤教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった1者について、候補として受け入れるということによろしいですか。

(中川委員)

現場の先生から「教育出版」を支持する意見があることと、多少マニアックな内容を取り上げているという点も、一方ではその教科書の個性として良い面と捉えることもできると思いますので、個性の違う2者から選ぶということで、両者を候補に入れた方が良いと考えます。

(内藤教育長)

ただいまの協議により、「教育出版」の「小学音楽 音楽のおくりもの」、「教育芸術社」の「小学生の音楽」の2者を採択の候補とします。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番

目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「教育出版」6点、「教育芸術社」12点

(内藤教育長)

それでは、投票の結果、

「教育芸術社」の「小学生の音楽」が候補となりました。

《図画工作》

選定委員会委員の向井所沢小学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使われている教科書は「開隆堂出版」である。はじめに、一覧の順に説明を行う。

「開隆堂出版」は、巻末や題材ページで表現技法や材料・用具の知識や使い方の手順などが丁寧に解説され、知識や技能が身に付くように題材が工夫されている。児童にとって製作上の工夫やポイントが分かりやすい作品を掲載することで、創造的に発想や構想ができる工夫がされており、キャラクターが思考力・判断力・表現力に特化したヒントを示すことで、造形的な見方や考え方を深める工夫がされている。

製作中の児童の様子を写した写真の吹き出しの言葉の中に、共通事項に関する視点が示されている。また、題材ごとに「ふりかえり」を示し、児童同士や教師とのコミュニケーションを図りながら、言語活動を充実させる工夫がされている。

学習に使用する主な用具が、題材ページに絵と文字で示されており、必要なものを準備しやすいよう工夫され、二次元コードを介して、動画等で用具の使い方や製作上のポイントが分かるようになっている。

「日本文教出版」は、題材ページや巻末で、表現技法や材料・用具の知識や使い方の手順などが、丁寧に解説されており、製作の様子や作例を見ることで、知識や技能が身に付くように工夫されている。

活動や作品の説明の他、キャラクターが造形的な見方や考え方についてのヒントを示したり、吹き出しで書かれている児童の発見を認めたりすることで、造形的な見方や考え方を深める工夫がされている。

例示作品に関する児童の思いが伝わる説明が掲載されていて、言葉で思いを伝え合う活動が促されている。

学習する上で配慮すべき事項が各ページ内に具体的に示されている。また、学習に使用する主な用具が各題材のページにマークで示され、準備しやすいようになり、出版社のデジタルコンテンツサイトには、製作上参考になる動画資料が用意されている。

次に、推薦する教科書とその選定理由の説明を行う。図画工作については、最も適しているものとして、「開隆堂出版」の「図画工作」を推薦する。

「開隆堂出版」を推薦する理由は、次の3点である。

1点目の理由は、児童にとって製作上の工夫やポイントが分かりやすい作品を掲載することで、創造的に発想や構想ができる工夫がされていることである。

2点目の理由は、キャラクターが思考力・判断力・表現力に特化したヒントを示すことで、造形的な見方や考え方を深める工夫がされていることである。

3点目の理由は、用具の使い方や製作上のポイントが、複数用意された二次元コードを介して簡単に確認することができるようにしていることである。

以上3点に加え、学校研究でも高い支持を得ており、所沢市の児童が思考力・表現力を高めるために最もふさわしい教科書として推薦する。

以下、質疑。

(中川委員)

掲載されている作品例が、「すごいなあ」、「どうやって作るんだろう」、「こうやったらできそうだなあ」というイメージが浮かびやすい作品が多いと感じたのが「開隆堂出版」でしたので、推薦された教科書に賛成です。

(内藤教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(内藤教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった1者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(内藤教育長)

ただいまの協議で、「開隆堂出版」の「図画工作」を候補とするということでしょうか。

《異議なし》

(内藤教育長)

それでは、「開隆堂出版」の「図画工作」が候補となりました。

《家庭》

選定委員会委員の鈴木東所沢小学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使われている教科書は「開隆堂出版」である。はじめに、一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、学習指導要領の家庭科の目標をもとに、基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得できるよう3ステップの学習過程で構成されている。学習の流れを3段階で表記することにより、思考を深める手助けをし、「考える・調べる・話し合う・実習する」といった主体的な活動を行うことができるよう工夫し、自分の調べたことや考えを直接書き込めるようになっている。「いつも確かめよう」「できたかな」のコーナーにより、知識や技能を確実に習得できるよう構成し、他のページへのリンクマークで、より深い学びを目指すことができるよう工夫している。挿絵・写真・図表等が大きめに提示されており、目で見て手順やポイントがわかるように配置されている。また、「安全」マークを用いて、安全に配慮した用具の使い方や実習の仕方が身に付くようになっている。

「開隆堂出版」は、学習指導要領の家庭科の目標をもとに、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図れるよう工夫し、系統的・発展的な学習へとつなげている。2年間を見通したストーリー性のある題材構成により家庭生活や身近な環境を大切にしている心情や実践的態度の育成に配慮している。チャレンジコーナーの実践例が複数あり、身に付いた知識や技能を生活に生かせるようになっている。挿絵・写真・図表等では、右利き、左利きの場合の説明や、野菜を茹でた時間の違いがわかる写

真も追加し視覚的にも配慮している。「安全マーク」を用いて、安全について注意・喚起を促すと共に、特設ページを設定し、実習時に作業を安全に進める具体的行動が確認できるようになっている。

次に、推薦する教科書とその選定理由の説明を行う。最も適しているものとして、「開隆堂出版」の「小学校わたしたちの家庭科」を推薦する。

「開隆堂出版」を推薦する理由は、次の5点である。

一つ目は、基礎的・基本的な知識や技能の定着が図れるよう工夫され、系統的・発展的な学習ができるようになっている。

二つ目は、各単元で話し合う場面を設定し、実践的・体験的な活動を促している。

三つ目は、調理や製作の実習手順図が、見開きページを使って横に流れ、目で追いながら見通しがもてるように工夫している。

四つ目は、図や写真、実践例も随所に載っており、主体的に学び、創意工夫し、学習内容を生活の中で活用できるようになっている。

五つ目は、各頁の二次元コードからスマホ等の動画が見られようになっており、授業での応用や家庭学習に配慮している。

学校研究でも高い評価を得ており、所沢市が目指している授業のスタンダードに活用しやすくなっている点から、最も適しているものとして推薦する。

以下、質疑。

(中川委員)

推薦した理由として、両者でこの点が違うという部分が分かるかと判断しやすいのですが、何かありますでしょうか。

(鈴木東所沢小学校長)

「東京書籍」は、Dマークで示しているページの部分は、巻頭の二次元コードから資料を見ることができます、というように作られています。それに対し「開隆堂出版」は、それぞれページ項目の中で、二次元コードが掲載されているので、ピンポイントで見たい部分を確認できるというメリットがあります。

(内藤教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(内藤教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった1者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(内藤教育長)

ただいまの協議で、「開隆堂出版」の「小学校わたしたちの家庭科」を候補とするということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

それでは、「開隆堂出版」の「小学校わたしたちの家庭科」が候補となりました。

《休 憩 午後4時15分～午後4時25分》

《保健》

選定委員会委員の鈴木東所沢小学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使われている教科書は「東京書籍」である。はじめに、一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、学習内容が4ページで構成され、「気づく・見つける」の導入「調べる・解決する」から「深める・伝える」最後に「まとめる・生かす」の4ステップで学習の流れが示されている。記入欄が随所にあり、自分の考えと他者との比較、振返りが記入でき、教科書に沿って授業が進められるように工夫されている。学習の流れがわかりやすく、課題解決に向けた学習を進める中で、基礎的・基本的な学習内容を定着させることができるよう工夫されている。

「大日本図書」は、巻頭で「おうち」や「ちいき」で取り組みたい活動、「しりょう」、「ミニ知識」などのマークを示し、児童が興味・関心をもって理解を深めるよう工夫している。「調べ学習の進め方」「話し合い活動の進め方」「発表の仕方」を通して、思考力、判断力、表現力の育成を図ることができるようになっている。

「文教社」は、各単元の導入が動機づけを図るページから始まり、児童が関心をもって学べるようになっている。学習内容が「考えてみよう」・「調べてみよう」・「振り返って見よう」・「話し合ってみよう」の流れで構成されている。学習内容が色付きの枠で囲んであったり、大事な部分が太字になっていたりして、基礎的・基本的な知識及び技能の習得ができるよう工夫されている。

「光文書院」は、導入が4コマイラストで学習が始まり、児童の意欲を喚起しやすい内容となっている。イラストを中心としたレイアウトで、まとめがミニテスト形式となっており、基礎的・基本的な知識の確実な習得ができるように工夫がされている。また、「に聞く」というページが設定されており、ゲストティーチャーのお話を聞く感覚で学べる内容となっている。資料が随所であり、より発展的な内容へと繋げることで、「思考力・判断力等」の育成を図る工夫をしている。

「学研教育みらい」は、見開き2ページで1時間の学習が構成され、親しみやすいイラスト、写真、グラフの資料がバランスよく掲載されている。重要な語句を太字にし、キャラクターによる説明が随所であり、学習内容が理解しやすいようになっている。また、「かがくの目」では、科学的な視点から健康に関わる資料を掲載し、「実習」では、友達同士で関わり合いながら学べる実験的な内容を取り入れている。

次に、推薦する教科書とその選定理由の説明を行う。最も適しているものとして、「東京書籍」の「新しい保健」、次に適しているものとして、「光文書院」の「小学保健」を推薦する。

最も適しているものとして「東京書籍」を推薦する理由は、次の5点である。

一つ目は、単元のはじめに学習の進め方があり、児童が見通しをもって活動できるようになっている。

二つ目は、記入欄が随所であり、自分で考えと他者との比較、振り返りが記入でき、教科書に沿って授業が進めやすくなっている。

三つ目は、独自のデジタルコンテンツが充実しており、資料も多数あり、発展させやすい構成になっている。

四つ目は、今日的な健康課題を取り上げたり、児童が生活の中から健康を見直したりできる内容になっている。

五つ目は、学習の流れがわかりやすく、課題解決に向けた学習を進める中で、基礎的・基本的な学習内容を定着させることができるように工夫されているところで

ある。

次に適しているものとして「光文書院」を推薦する理由は、次の4点である。

一つ目の理由は、1単位時間ごとのページ割が工夫され、児童が学習の見通しがもちやすい工夫がされている。

二つ目は、単元のまとめが、ミニテスト形式となっており、基礎的・基本的な知識の確実な習得ができるように工夫されている。

三つ目は、振り返りの中で習得した内容を活用し、まとめられるように工夫している。

四つ目は、写真資料やデータが多数あり、単元ごとのシンプルなイラストと、学習過程が5段階になっていることで、「何を・どのように学ぶ」かが分かりやすくなっているところである。

以下、質疑。

(中川委員)

今日的な健康課題を取り上げていることは、とても重要だと思いますが、「東京書籍」が秀でているというポイントがあれば教えてください。

(鈴木東所沢小学校長)

交通事故に関して、資料をもとに実際にどのようなところで事故が起きそうかな、ということを考えられるようになっている、学校で指導している自転車の交通安全五則を改めて確認できるようになっている、インターネットによる犯罪被害の注意喚起が掲載されている、などが挙げられます。

(清水委員)

交通安全に関して、特に力を入れている教科書はどれですか。

(鈴木東所沢小学校長)

細かい資料も含めて文量も多く、「東京書籍」の教科書は具体的な内容が示されています。

(清水委員)

海外でテロが発生したときの対応等まで取り上げている教科書はありましたか。

(鈴木東所沢小学校長)

海外でのことまで取り上げた内容はありませんが、国内ですと風水害に関する記述はあります。

(大岩教育長職務代理者)

算数のところでも申し上げましたが、主体的で深い学びといいながら、サービス過多で主体性を身に付けることとは逆行した内容が増えていないかということが気になりますが、保健というのは、危機を回避する力や困難に立ち向かう力、自分のことをよく知って、必要なときには人に助けを求めたり、求められたり、というような力をつける働きをもっている教科であると考えます。そのような部分に、特に力を入れた内容になっている教科書はありますか。

(鈴木東所沢小学校長)

「東京書籍」は、項目について自分で考えたことを書き込んで、そこからさらに話し合いをしていく、という作りになっています。示すだけでなく、自分達が考える・話し合うという対話的な活動を通して、まとめに近づけていこうという内容になっていて、教え込みということではなく、子供の主体的な活動を通して保健について考えるという視点を取り入れられています。

(内藤教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(内藤教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(内藤教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新しい保健」、「光文書院」の「小学保健」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点を

つけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「東京書籍」11点、「光文書院」7点

(内藤教育長)

それでは、投票の結果、

「東京書籍」の「新しい保健」が候補となりました。

《外国語（英語）》

選定委員会委員の結城美原中学校長より、以下のとおり報告がなされた。

来年度から始まる小学校外国語における教科用図書について、一覧の順で説明を行う。

「東京書籍」は、2年間使用する別冊の Picture Dictionary で単語を書き写したり、自己表現の際に単語を選んだりできる。教科書・別冊含めて約200か所の二次元コードが用意され、児童の家庭学習や教師の教材研究にも使える。特にコミュニケーション活動の場面を実際に動画で確認することができ、活動内容が理解しやすくなっている。児童の活動を記入する欄が随所にあるので、教師にとってつまづきを発見し、評価・支援に繋げることができるようになっている。

「開隆堂出版」は、各 Lesson の最初の見開きにイラストがあり、Lesson のゴールの見通しをもたせることができる。Let 's listen や Let 's play で語彙や表現を繰り返し定着させ、Let 's try で学んだことを活用しながらまとめをする。また、意味のある生きたコミュニケーションを大切にし、児童がやり取りしたくなる活動が設定されている。「読む」こと「書く」ことを体系的に繰り返し学習で身に付けられるように、各 Lesson のワークシートとして教科書の後半に示されている。

「学校図書」は、各 Lesson の初めに単元の活動が示されている。また、短時間学習いわゆるモジュールで行う学校も対応しやすくなっている。これにより教師も児童も今、何をするのか、しっかりと見通しをもって学習できる。小学校段階で音声によるインプットを最重視し、そこから子供たちの気づきを引き出し表現活動に繋げるということを大切にしている。

「三省堂」は、目標・見通し・ふりかえりという学びのプロセスを大切にしている。HOPで各ユニットで目指す姿を把握し学びの見通しを立て、STEPで語彙や表現を増やし、JUMPで習得したものを活用し、実際の場面で表現できる構成となっている。たくさんのインプットから、自分のことを表現するアウトプットを増やしていく活動の流れとなっている。

「教育出版」は、巻頭で「1年間の学習目標」を示し、めあてをもって学習できるようにしている。又、各単元の冒頭の見開きでは、単元の目標活動である Final Activityにつながる内容となっている。見通しをもちながら学習を進め、最後には自己評価を記入し、単元ごとに自分の達成度を確認することができる構成となっている。

「光村図書出版」は、大きなパノラマイラストとアニメーションのストーリー映像を手掛かりに場面や状況・話題をつかむことができるようにしている。また、チャンツや歌を全 Unit に用意し、表現を楽しく学習できるように工夫されている。会話の態度や相づちの表現など、相手意識をもつための活動を設定している。性格や出身国の異なるキャラクターが成長するストーリーが展開され、多様な価値観を受け入れる心を育むことができるようになっている。

「啓林館」は、各 Unit の扉には GOAL が示され、何ができるようになるかを意識しながら主体的に学習を進めることができるようにしている。各 Unit は3つの Part から構成され、どの Part も「聞く」活動から入り、Part 1 では単語や単文を繰り返す活動、Part 2 では単文の発話とやり取りへ、Part 3 では発表へと段階的に進み、振り返りに繋げている。

小学校外国語における教科用図書は、最も適しているものに「開隆堂出版」の「Junior Sunshine」、その次に適しているものとして「東京書籍」の「NEW HORIZON Elementary English Course」の2者を推薦する。

「開隆堂出版」を選定した理由は、次の3点である。

1点目の理由は、授業におけるゴールの見通しをもたせ、Let's listen や Let's play で語彙や表現を繰り返し定着させながら、Let's try で学んだことを活用させ、まとめをする構成になっている。

2点目の理由は、意味のある生きたコミュニケーションを大切にし、自然で身近な内容をもとにした場面、児童がやり取りしたくなる活動が設定されている。

3点目の理由は、「読む」こと「書く」ことを体系的に繰り返し学習で身に付け

られるように、各 Lesson のワークシートとして教科書の後半に示されている。

「東京書籍」を選定した理由について、次の3点である。

1点目の理由は、別冊の Picture Dictionary で、児童が単語を書き写したり自己表現の際に単語を選んだりでき、予習復習、自学自習にも使えるものとなっている。

2点目の理由は、教科書には約200か所の二次元コードが用意され、特にコミュニケーション活動の場面を実際に動画で確認でき、活動内容が理解しやすくなっている。

3点目の理由は、「読む」こと「書く」ことを体系的に繰り返し学習で身に付けられるように、各 Lesson のワークシートとして教科書の後半に示されている。

終わりに、選定委員会における選定結果及び学校研究において、「開隆堂出版」と「東京書籍」では、その投票数に大きな差は見られなかった。

以下、質疑。

(寺本委員)

所沢市で取り組んでいる「TEA-Plan」のスタイルを考えたときに、「東京書籍」の方がふさわしいと考えます。まず、聴き取るということを本当に重視していることが、絵を見て分かります。一方、「開隆堂出版」は、読んで書き写してという、昔ながらの授業の展開が多いです。総ページ数は「開隆堂出版」の方が多いのですが、コンテンツ数は「東京書籍」の方が多いです。ということは、繰り返しのドリル的なものが「開隆堂出版」の授業の展開になって、教科書を見ながら児童が聴いたり、クイズをやったりすることが多いのが「東京書籍」だと思いますので、「TEA-Plan」という先進的な取組には「東京書籍」が合っていると思います。また、「東京書籍」の Picture Dictionary は、大人も欲しくなるくらい、とても良いものです。

(中川委員)

私も「東京書籍」の Picture Dictionary に惹かれたのですが、「開隆堂出版」の方には、それにあたる資料はありますか。

(結城美原中学校長)

「開隆堂出版」は、巻末に単語について既習した内容が載っています。重要な部分に関しては、この教科書で学んだことのチェックリストがあり、それが「東京書籍」の Picture Dictionary にかわるものだと思います。

(寺本委員)

単語リストは、例えば「食べる」が「eat」、「狐」が「fox」ということが分か
っていないと引くことができませんが、Picture Dictionaryであれば、その話題で
引くことができるという点でも優れていると思いますし、家に帰ってから、親と一
緒に活用することもできると思います。

(中川委員)

中学校との連動性の観点から、小・中で違う出版者の教科書を使っている問題
はないでしょうか。

(結城美原中学校長)

発行者が違っていても問題ないと考えます。

(清水委員)

二次元コードをより多く使っているのはどちらですか。

(結城美原中学校長)

「東京書籍」の方が多く使っています。

(清水委員)

二次元コードは、実際の場面ではどのように活用されますか。

(結城美原中学校長)

教員が教材研究を行う場合に、どのような活動が展開されるかを事前に見ること
ができます。また、授業の場面では、音声教材や対話の場面が出てきますので、そ
れらを活用することができます。

(中川委員)

どちらも優れていて甲乙つけがたいのですが、最も適しているとして「開隆堂出
版」を挙げた決定的な理由はありますか。

(結城美原中学校長)

大きな差はなく、選定委員の中でも、わずかな差で、最も適しているものと、次
に適しているものとして挙げさせていただきました。

(内藤教育長)

推薦していただいた2者とその他の5者の差は、僅差でしたか。それとも、差は
大きかったのでしょうか。

(結城美原中学校長)

主体的・対話的な深い学び、小学校3・4年生からどう繋げていくのか、そして

中学校にどう繋げていくのかという部分は、どの教科書もよく研究されているという認識は変わらなかったのですが、選定委員会の中では、「開隆堂出版」と「東京書籍」に多く意見が出され、その他で多く票が入ったところはありませんでした。

(内藤教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(内藤教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった2者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(内藤教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「NEW HORIZON Elementary English Course」、「開隆堂出版」の「Junior Sunshine」の2者が決まりました。候補となった2者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は2点、2位は1点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「東京書籍」9点、「開隆堂出版」9点

(内藤教育長)

2者の得点が同じであったため、同点となった「東京書籍」と「開隆堂出版」の中から1者を選びます。投票の方法は、これまでと同様、順位を書く方法とし、2者の中から、1番ふさわしいと思うものに「1」とご記入ください。得点が1番高

くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「東京書籍」3点、「開隆堂出版」3点

(内藤教育長)

再投票の結果も同点となりましたので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第4項()に則り、教育長である私が裁定させていただくということによろしいでしょうか。

() 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第4項

『教育委員会の会議の議事は、……可否同数のときは、教育長の決するところによる。』

《異議なし》

(内藤教育長)

調査研究専門員及び選定委員の皆様が、学校の調査研究等、様々な観点から調査・研究してきた推薦順位が、僅差であったとしても「開隆堂出版」が最も適しているとして推薦されていますので、これを尊重したいと考えます。

よって、「開隆堂出版」の「Junior Sunshine」を候補とします。

《特別の教科 道徳》

選定委員会委員の向井所沢小学校長より、以下のとおり報告がなされた。

現在使われている教科書は「学研教育みらい」である。はじめに、一覧の順に説明を行う。

「東京書籍」は、学習の手引きとして、学習手順を4つのステップで示し、学習の流れをつかませる工夫や、話し合い活動などの留意点が示されており、見通しをもった学習ができるよう工夫されている。学習活動のページ「出会う・ふれ合う」を全学年2カ所ずつに設け、道徳的価値について考えられるようにしている。ユニット形式の「いじめのない世界へ」を全学年に掲載している。

「学校図書」は、教材集「きづき」、別冊「まなび」の2冊構成となっている。「きづき」では、「命」「人」「時」「夢」の4つの視点で教材を選定し、人物の行動等に共感したり、自分との関わりを考えて、課題意識をもつことができるよう

にしている。「まなび」では、問題解決的な学習、体験的な学習など、多様な学習を促す構成で、自己の生き方を考えるための工夫がされている。

「教育出版」は、内容項目ごとにまとまった教材配置をしている。教材に入る前段階として、自己を振り返ったり、偉人について調べて書き込んだりするページがあり、教材の冒頭と末尾に問いを設け、自己の生き方についての考えが深められるようにしている。命の大切さやいじめ問題に関して、発達段階に合わせて、考えられるようにしている。

「光村図書出版」は、登場人物への自我関与が中心の学習、問題解決的な学習、体験的な学習を織り交ぜ、自分のこととして考え、広げられるように工夫されている。「考えよう・話し合おう」では、学習のめあてを提示し、何について考え、話し合うのかを意識できるようにしている。いじめ問題や情報モラル、環境問題等といった教材は、読み物資料とコラムを組み合わせたユニット形式となっている。

「日本文教出版」は、「教科書」と「道徳ノート」の2冊構成になっている。教科書には、思考の流れに沿った発問が記載され、児童が主体的に考えられるよう、工夫されている。「道徳ノート」には、自分や友達の意見を記入でき、多面的・多角的に考えることができるようにしている。「いじめ防止」を最重要テーマとし、教材とコラムとを組み合わせた「いじめ防止ユニット」として、構成している。

「光文書院」は、教材の冒頭に「問いをもつ」、展開に「考える」、末尾に「まとめる」「ひろげる」を掲載し、授業の目的や流れが示され、様々な「問いかけ」が掲載されている。「生命尊重や」「いじめを生まない心」などは、複数時間扱いとして、教材が連続配置されている。学校の実態に応じて選択できる教材を、1年生は6教材、2年生から6年生は5教材を掲載している。

「学研教育みらい」は、児童が特定の価値観にとらわれずに学習できるよう、主題名を掲載せず、自分との関わりを問い直すプロセスが、スムーズに進むような構成になっている。教材末尾の問いかけや「つなげよう」「深めよう」「広げよう」「やってみよう」といった「学びのページ」で、物事を多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。いじめ問題への対応「いのちの教育」を重視し、内容項目の異なる教材を組み合わせるユニット形式としている。

「廣済堂あかつき」は、教科書と道徳ノートの2冊構成になっている。「考えよう 話し合おう」を配置し、考えを深められるようにしている。重点項目の教材は、2時間扱いのユニット形式になっている。道徳ノートは、自分の考えや成長が分か

る工夫がされている。いじめ防止については、身近な問題を扱った教材を通して、児童が自分との関わりで考えることができるようにしている。

次に、推薦する教科書とその選定理由の説明を行う。最も適しているものとして、「学研教育みらい」の「新・みんなの道徳」、次に適しているものとして、「東京書籍」の「新訂 新しい道徳」及び、「光文書院」の「小学道徳 ゆたかな心」を推薦する。

「学研教育みらい」を推薦する理由は、次の2点である。

1点目の理由は、児童が特定の価値観にとらわれずに、学習できるよう主題名を掲載していないことである。このことにより、教材との出会いや対話をもとに、自分との関わりを問い直すプロセスが、スムーズに進むような構成になっている。

2点目の理由は、巻頭で、「学び方」と「考えを深めるための四つの視点」を示すことで、児童が、主体的に学習できるようにし、教材末尾の問いかけや「学びのページ」で、物事を多面的・多角的に考えることができるように工夫していることである。

以上2点に加え、学校研究でも高い評価を得ており、所沢市の児童が「考え、議論する道徳」を学ぶために、最もふさわしい教科書として推薦する。

次に適している2者について、「東京書籍」を推薦する理由としては、次の2点である。

1点目の理由は、学習の手引きとして、学習手順を4つのステップで示し、学習の流れをつかめるよう工夫していることである。

2点目の理由は、話し合い活動などの留意点が示されていて、見通しをもった学習ができるよう工夫されていることである。

「光文書院」を推薦する理由としては、次の2点が挙げられる。

1点目の理由は、教材の冒頭に「問いをもつ」、展開に「考える」、末尾に「まとめる」「ひろげる」を掲載し、児童が主体的に考えていけるように工夫していることである。

2点目の理由は、学校の実態に応じて選択できる教材として、1年生6教材、2～6年生5教材を掲載していることである。

以上の2者については、先に説明した「学研教育みらい」に比べると、推薦の度合いは高くない。

以下、質疑。

(中川委員)

推薦された教科書に賛成です。「学研教育みらい」の良いところは、特定の価値観にとらわれないように、主題を掲載していないことです。道徳は、他の科目と違って、何かを学んで達成して結論を出すというものではないので、その点でも、明確に他の科目との差異化が図られていて良いと思います。

「東京書籍」は、何かを身に付けさせるという意味での教育的な教科書の作成においては、非常に卓越していると思いますが、ステップ1から4までの流れで、この点を学びましょう、という内容になっていて、他の科目と同じような扱いになってしまっていないかという気がしました。

(清水委員)

「東京書籍」は、水泳の池江選手を取り上げていて、オリンピックを目指して頑張っている内容になっていますが、現在病気と闘っている状況があり、その最新の情報に更新されていないので、読んだ方にとって今を感じる内容になっていないという印象を受けました。

(内藤教育長)

他にご意見はございますか。

《特になし》

(内藤教育長)

それでは、協議に移ります。選定委員会より推薦のあった3者については、候補として受け入れるということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

また、選定委員会の推薦以外の教科書を推薦したいという提案はありますか。

《特になし》

(内藤教育長)

ただいまの協議で、採択の候補として「東京書籍」の「新訂 新しい道徳」、「光文書院」の「小学道徳 ゆたかな心」、「学研教育みらい」の「新・みんなの道徳」の3者が決まりました。候補となった3者の中から投票により、1者を選ぶということによろしいですか。

《異議なし》

(内藤教育長)

それでは、投票に移ろうと思います。1番ふさわしいと思うものに「1」、2番

目にふさわしいと思うものに「2」とご記入ください。1位は3点、2位は2点をつけて、総得点が1番高くなった1者を選ぶという方法です。この方法で投票を行ってよろしいですか。

《異議なし》

[投票結果]

「東京書籍」1点、「光文書院」5点、「学研教育みらい」12点

(内藤教育長)

それでは、投票の結果、

「学研教育みらい」の「新・みんなの道徳」が候補となりました。

(内藤教育長)

以上で13種目すべての審議が終わりました。審議の結果、令和2年度使用小学校用教科用図書については、次の教科用図書を原案といたします。

国語	「光村図書出版」	「国語」
書写	「教育出版」	「小学 書写」
社会	「東京書籍」	「新しい社会」
地図	「帝国書院」	「楽しく学ぶ 小学生の地図帳」
算数	「東京書籍」	「新しい算数」
理科	「東京書籍」	「新しい理科」
生活	「東京書籍」	「新しいせいかつ」
音楽	「教育芸術社」	「小学生の音楽」
図画工作	「開隆堂出版」	「図画工作」
家庭	「開隆堂出版」	「小学校わたしたちの家庭科」
保健	「東京書籍」	「新しい保健」
外国語（英語）	「開隆堂出版」	「Junior Sunshine」
特別の教科 道徳	「学研教育みらい」	「新・みんなの道徳」

令和2年度使用小学校用教科用図書について、内藤教育長の採決により、出席委員の賛成多数により、原案どおり採択された。

(内藤教育長)

教科用図書選定委員会委員、及び調査専門員の皆様、これまで詳細な調査・研究を行っていただきまして、大変ありがとうございました。

1 3 その他

- ・教育委員会会議 8月定例会：8月20日（火）午後1時30分
所沢市役所6階 602会議室
- ・教育委員会会議 9月定例会：9月25日（水）午後1時30分
所沢市役所6階 602会議室
- ・教育委員会会議 10月定例会：10月30日（水）午後1時30分
所沢市役所6階 602会議室
- ・学校視察：10月30日（水）午前

1 4 閉 会 午後5時20分